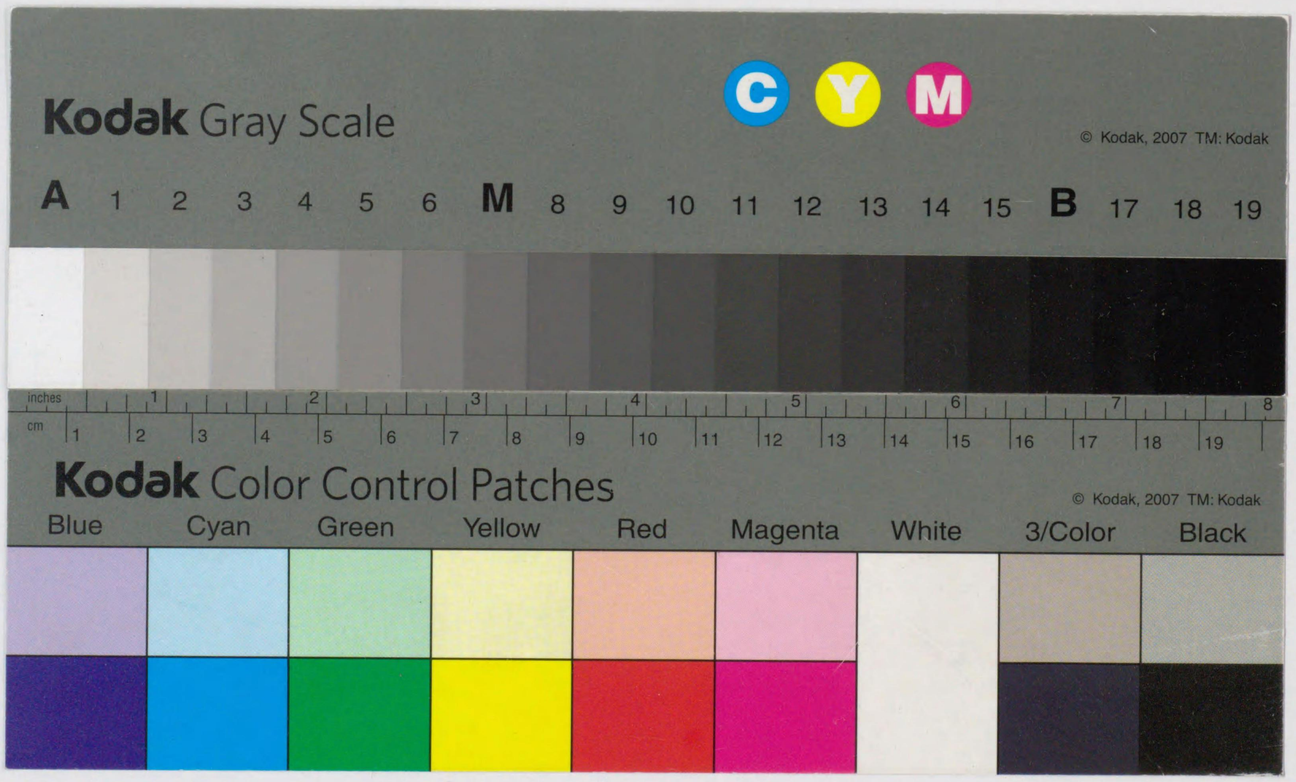
百合病害ニ關スル研究

群馬縣立農事試驗場編

第一號



638
127

百合病害ニ關スル研究

特別報告　第一號

昭和八年三月

群馬縣立農事試驗場

638
127

百合病害ニ關スル研究（第一報）目次

緒　言	1
總　論	1
病圃ノ消毒ニ關スル試驗	3
鱗莖貯藏ニ關スル試驗	6
圃地ニ於ケル豫防試驗	9
百合病害罹病程度ノ發育ニ及ボス影響試驗（昭和六年）	12
仝　上（昭和七年）	19
モザイク病	27
モザイク病ト蚜虫ノ關係	27
萎縮病ト汁液接種	29
モザイク病ト接木ノ關係	29
萎縮病ト傷害ノ關係	30
細菌分離並ニ接種ニ關スル試驗	30
花蕾開裂ニ關スル調査	32
結　論	33
引用文献	34

昭和八年 京圖十二

638
127

638-127

本報告ニハ農林省指定及群馬縣立農事試驗場ノ施行ニ係ル百合病害ニ關スル試驗ノ成績ヲ登載ス

昭和八年三月

群馬縣立農事試驗場長　久保貞次郎

638
127

638
127

第一圖版

合百砲鐵ルセ育發ニ全健

第一圖版

638
127

638
127

第二圖版

絣狀モザイック病ノ被害狀態

第二圖版

638
127

638
127

第三圖版

下葉ヨリ漸次萎縮セルモノ

第三圖版

638
127

638
127

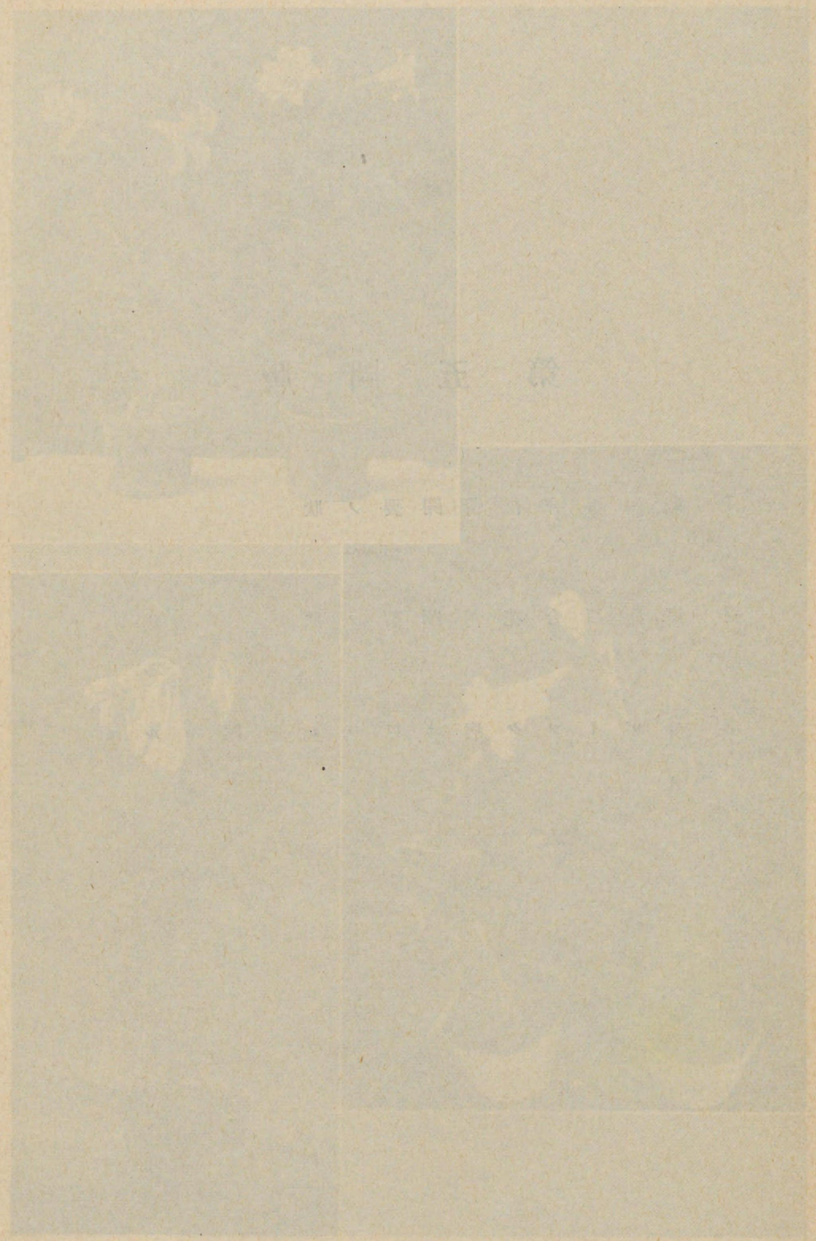
第四圖版

鐵砲百合普通栽培

圖版 第四

Y. Koyama, phot.

638
127



638
127

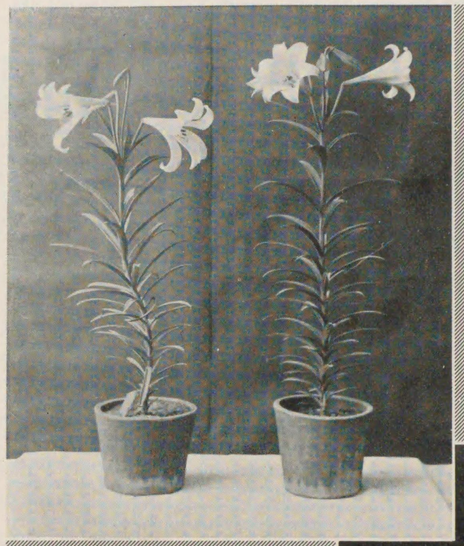
第五圖版

1. 鐵砲百合花蕾開裂ノ狀

2. 鐵砲百合花蕾開裂ノ狀

3. モザイック病ニ犯サレ萎縮セルモノ

1

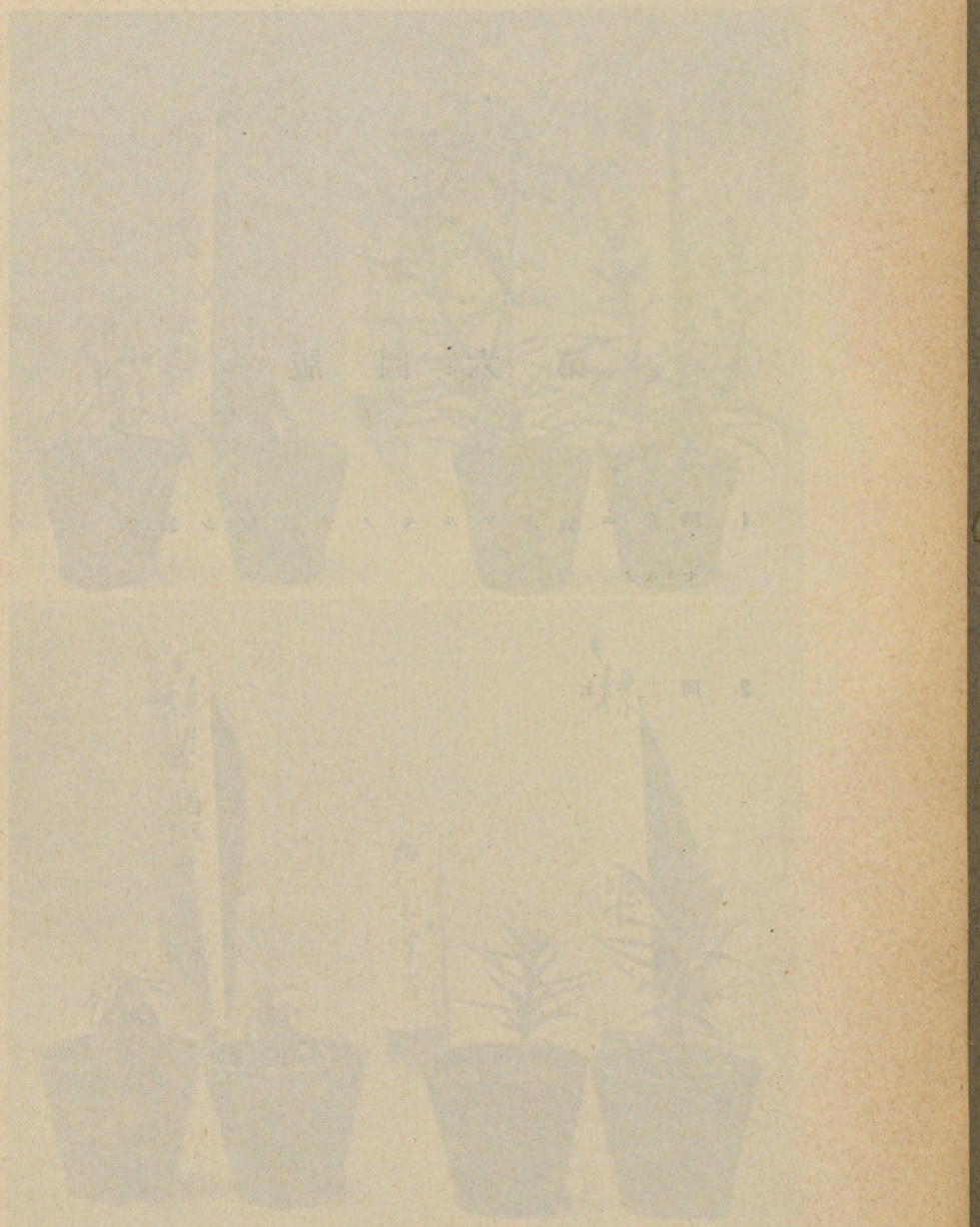


2

3

Y. Koyama, phot.

638
127



638
127

第六圖版

1. 鱗莖ニ病斑アルモノヲ栽植シ發病セルモノ

2. 同　　上

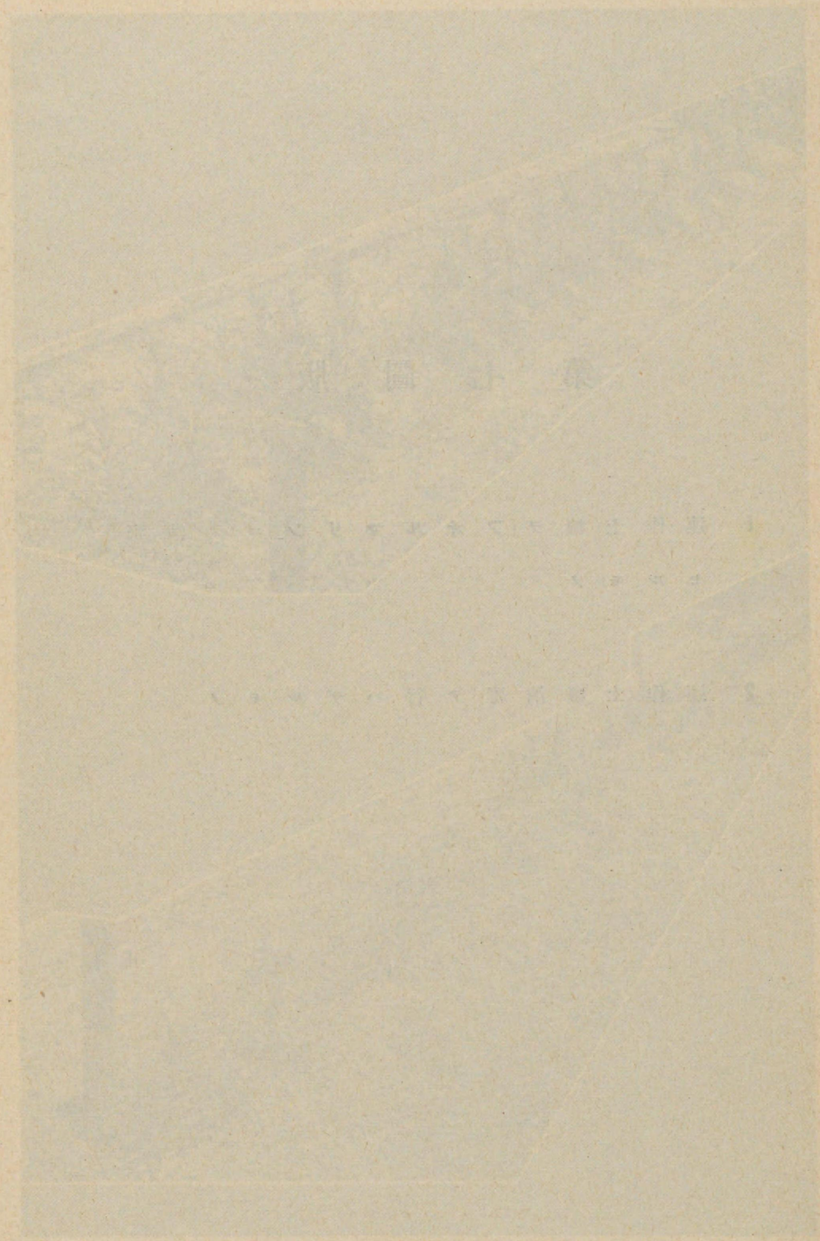
第六圖版

1

2

Y. Koyama, phot.

638
127



638
127

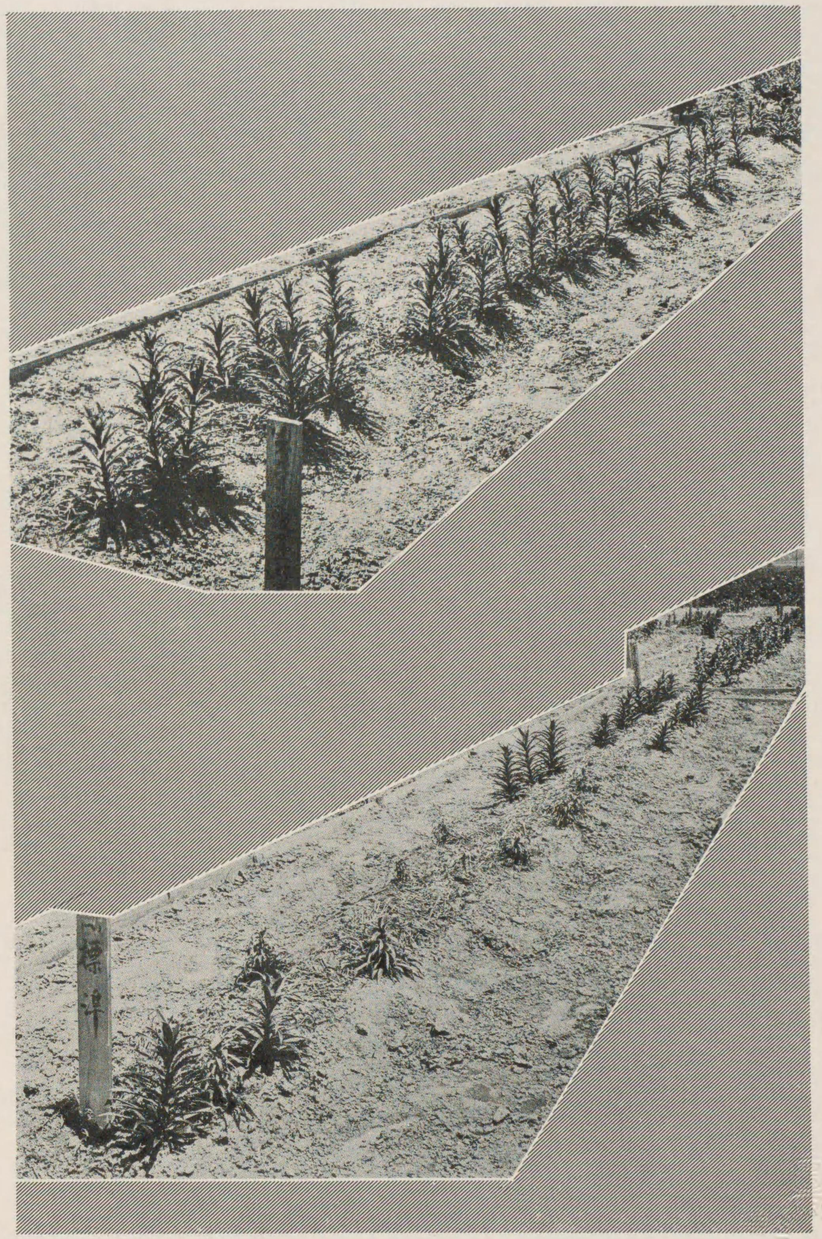
第七圖版

1. 連作土壌ヲ「フオルマリン」ニテ消毒セルモノ

2. 連作土壌消毒ヲ行ハザルモノ

第七圖版

1



2

Y. Koyama, phot.

638
127

638
127

第八圖版

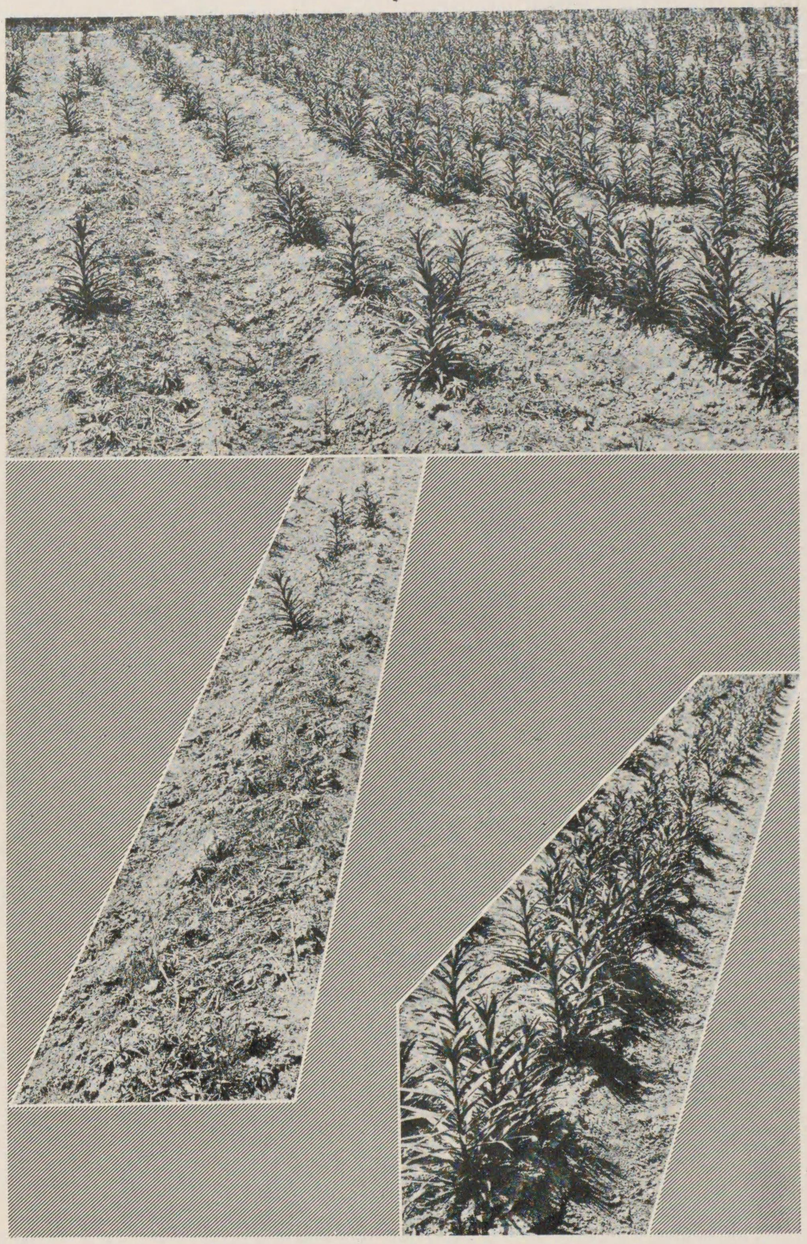
1. 種球撰擇ヲセザルモノヲ栽培セル圃場

2. 病球ヲ栽培セシモノ

3. 健全球ヲ栽植セルモノ

第八圖版

1



2

3

Y. Koyama, phot.

638
127

638
127

第九圖版

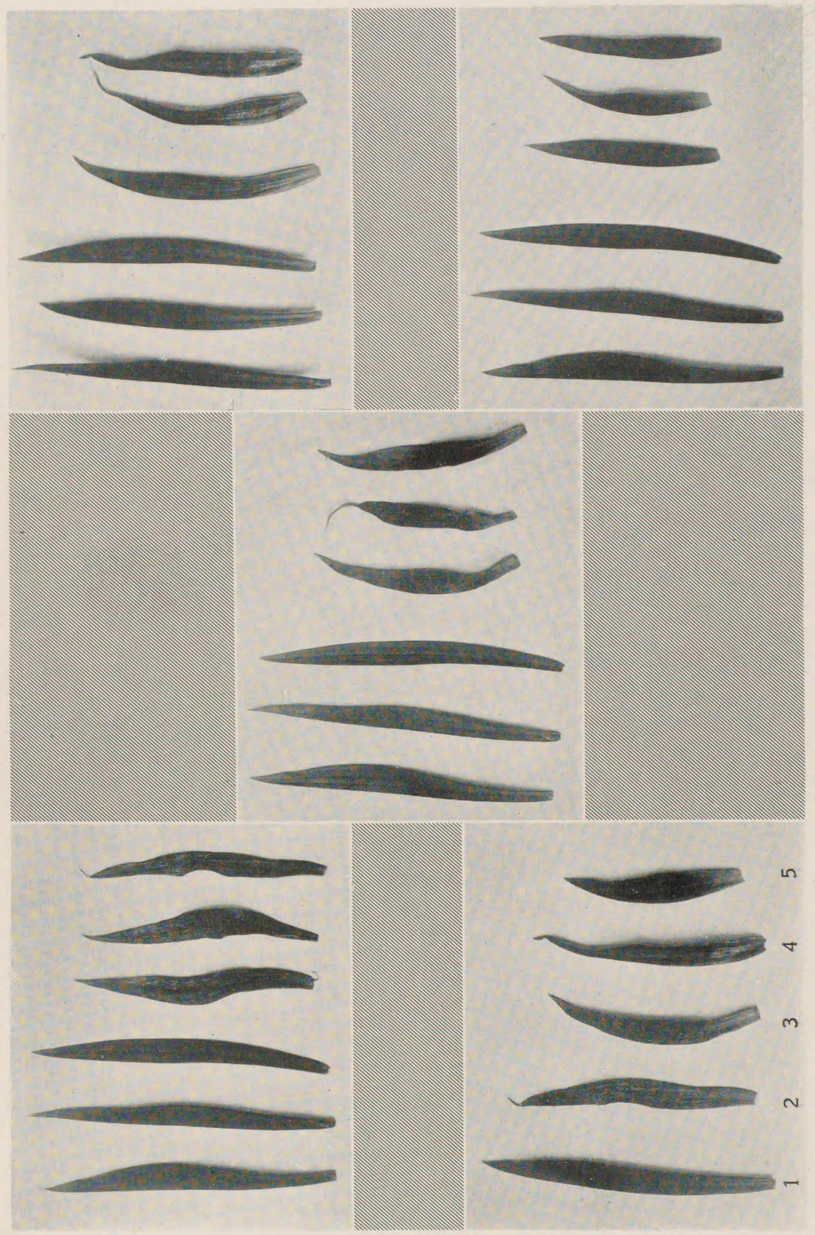
1. 絣狀モザイツク病葉

2. 1. 健全葉　2. 絣狀ノ病斑　3. 全上
   4. 綠色ノ病斑ヲ生ゼルモノ　5. 全上

3. 綠色部ヲ生ゼルモノ

4. 綠色部ヲ生ジタルモノヨリ漸次絣狀ニ進化シツヽアルモノ

5. 全上輕斑ナルモノ



638
127

638
127

第十圖版

圃地ニ於ケル被害程度ノ收穫期ノ球ニ及ボス狀態

1. 上部ヨリ枯葉ヲ始メ全部枯死ノモノ

2. 全上半分枯死ノモノ

3. 上部三分ノ一位枯葉ノモノ

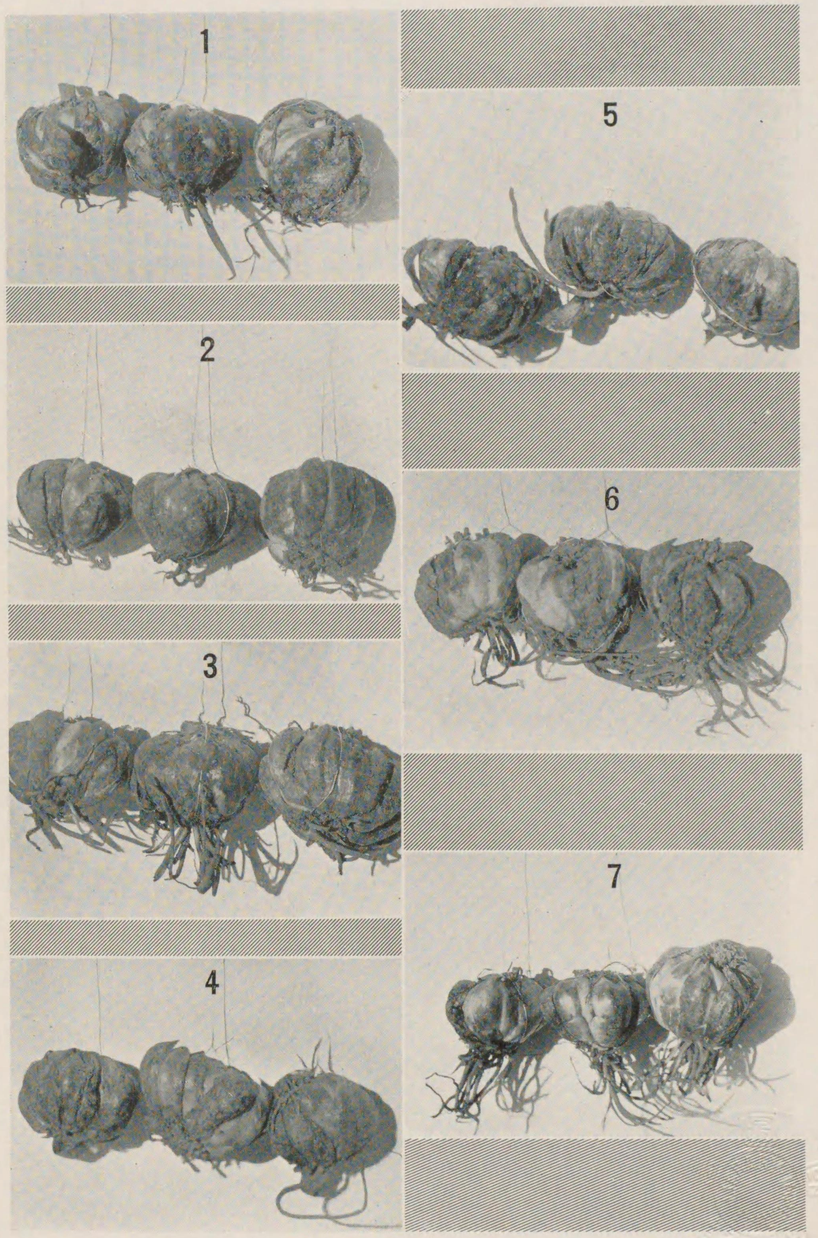
4. 下部ヨリ枯葉ヲ始メ全部枯死ノモノ

5. 全上半分枯死ノモノ

6. 下葉二三枚枯死ノモノ

7. 健全ニ發育セルモノ

第十圖版



Y. Koyama, phot.

638
127

第十一圖版

圃地ニ於ケル被害程度ノ收穫期ノ球ニ及ボス狀態

1. 標準　健ニ發育セルモノ

下部ヨリ發病全部枯死セル球

2. 下部ヨリ發病半分枯死セル球

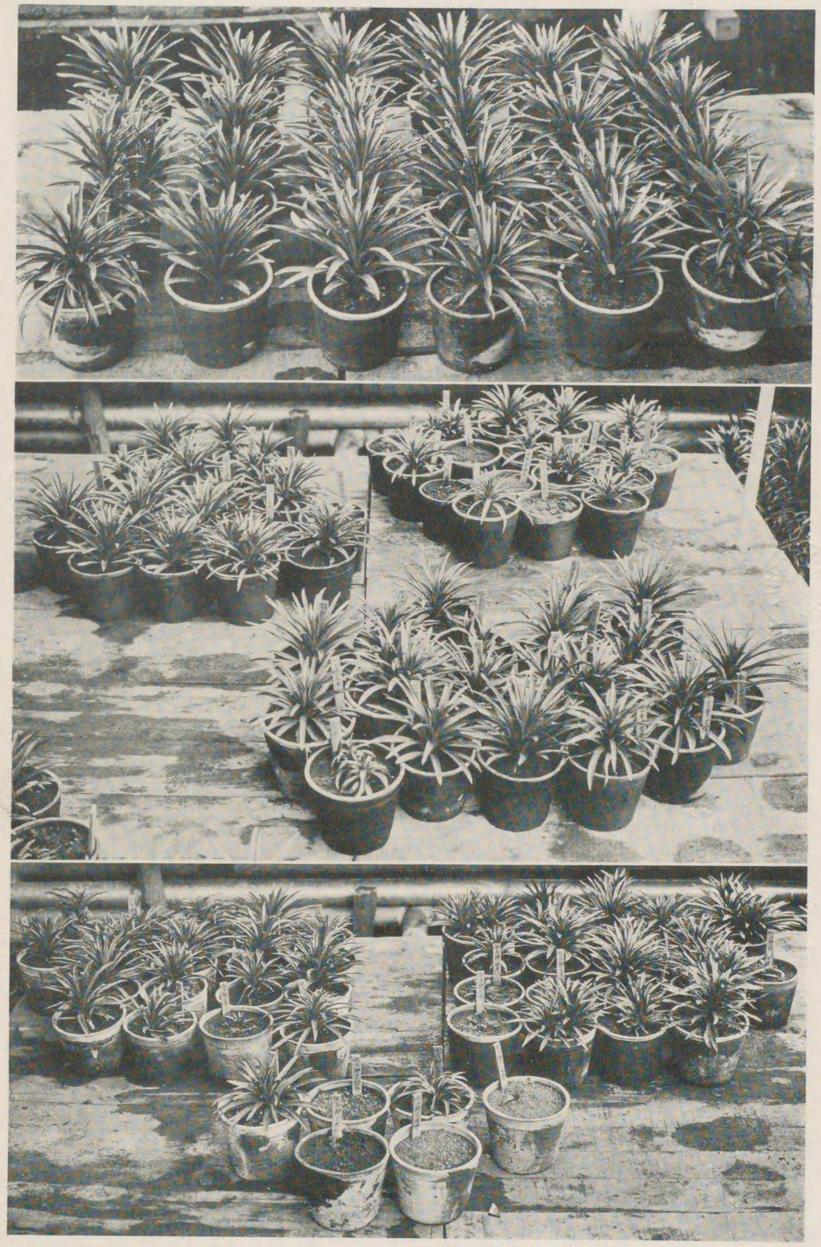
下葉二三枚枯死セル球

3. 上部三分ノ一枯葉　　上部ヨリ半分枯葉

上部ヨリ全部枯死

第十一圖版

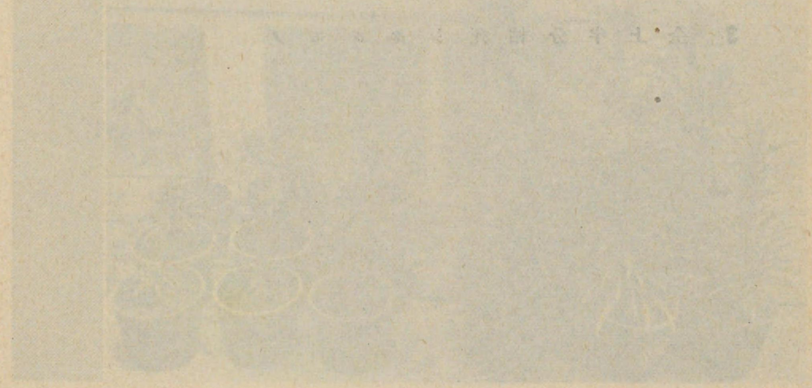
1



2

3

Y. Koyama, phot.



第十二圖版

（昭和六年）

圃地ニ於ケル被害程度ノ收穫期ノ球ニ及ボス狀態

1. 下葉二三枚枯葉セルモノト健全ナルモノノ比較

2. 下部ヨリ枯葉ヲ始メ全部枯死シタルモノ

3. 全上半分枯死シタルモノ

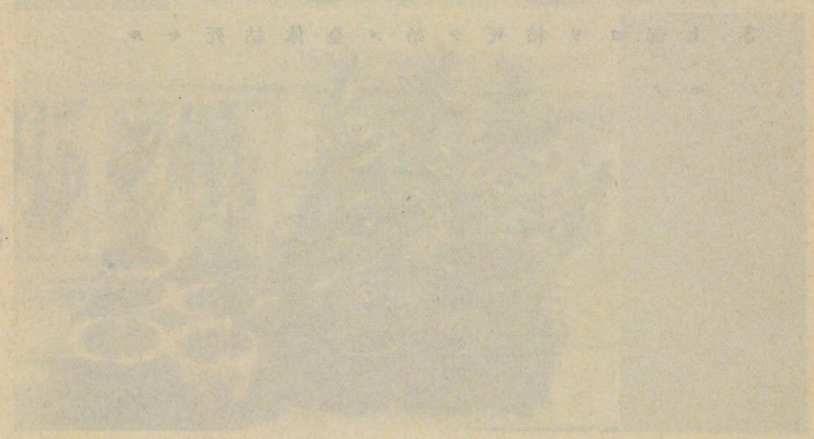
第十二圖版

1

2

3

Y. Koyama, phot.



第十三圖版

（昭和六年）

圃地ニ於ケル罹病程度ノ發育ニ及ボス狀態

1. 上部ヨリ三分ノ一枯葉セルモノ

2. 仝上半分枯死セルモノ

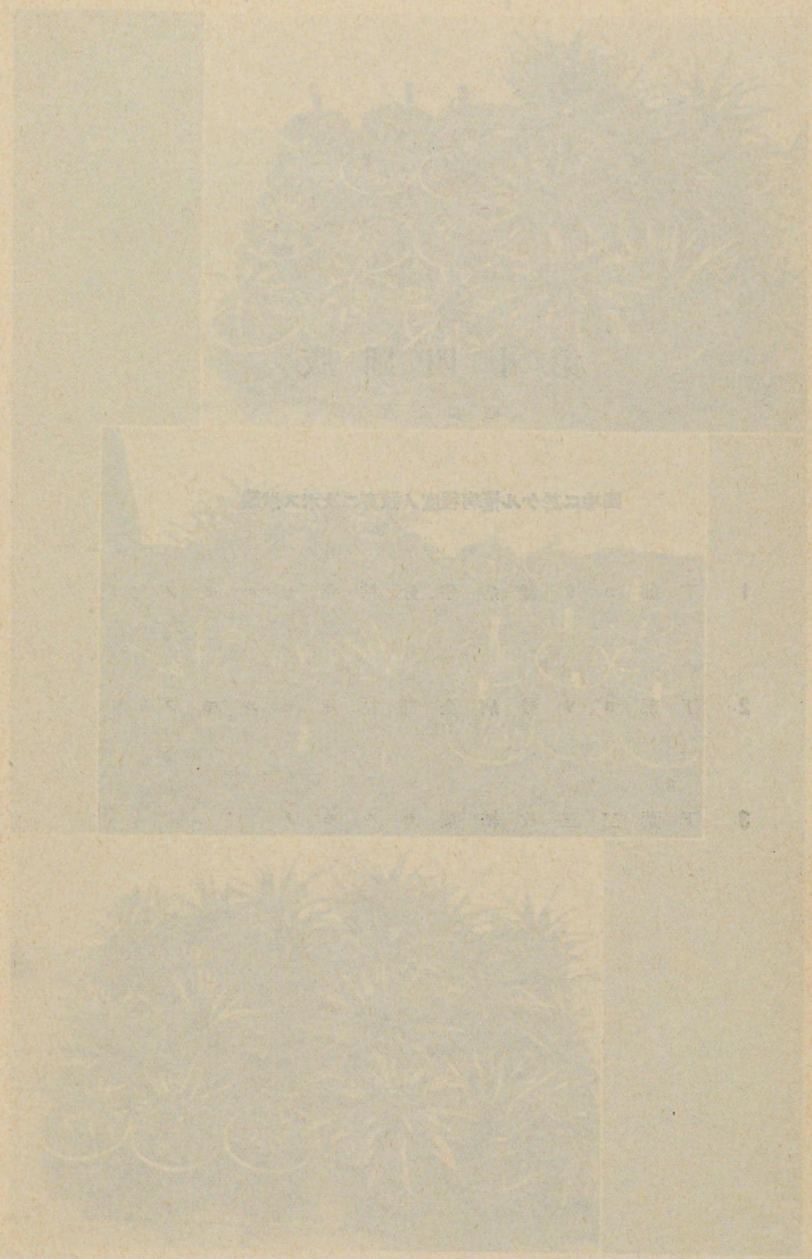
3. 上部ヨリ枯死ヲ始メ全体枯死セルモノ

1

2

3

Y. Koyama, phot.



第十四圖版

（昭和七年）

圃地ニ於ケル罹病程度ノ發育ニ及ボス狀態

1. 下部ヨリ發病半分枯死セルモノ

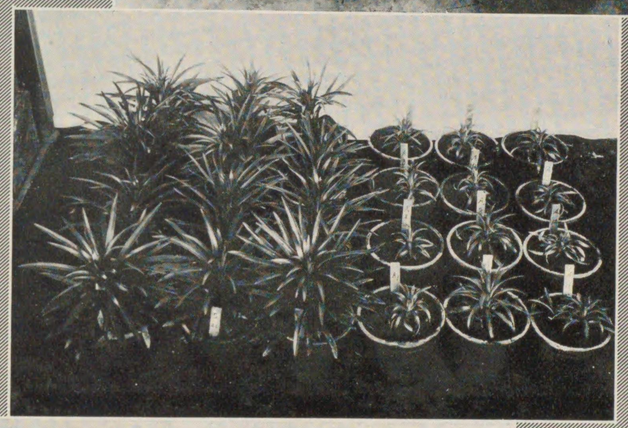
2. 下部ヨリ發病全部枯死セルモノ

3. 下葉二三枚枯葉セルモノ

第十四圖版

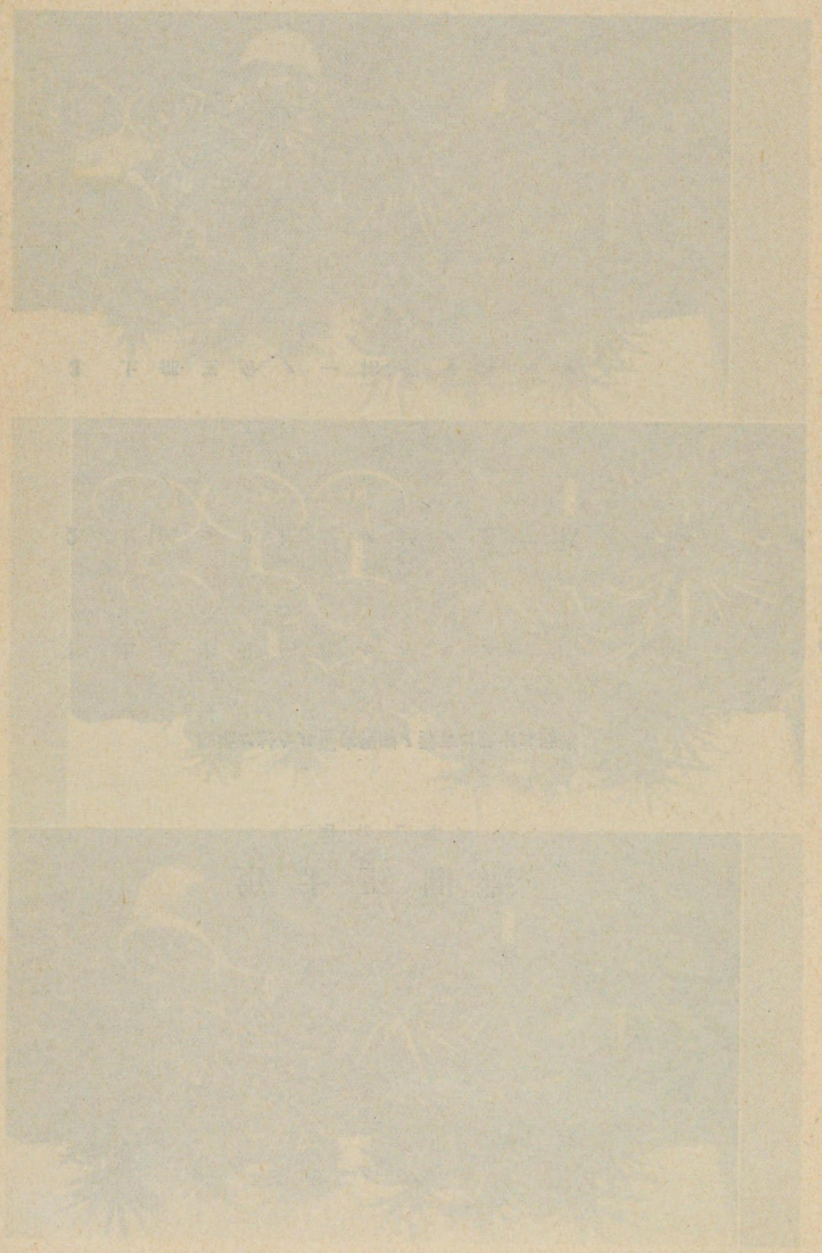
1

2



3

Y. Koyama, phot.



第十五圖版

（昭和七年）

圃地ニ於ケル罹病程度ノ發育ニ及ボス狀態

1. 上部半分枯死セルモノ

2. 上部ヨリ枯葉ヲ始メ全部枯死セルモノ

3. 上部三分ノ一枯葉セルモノ

1

2

3

Y. Koyama, phot.

第十六圖版

（昭和七年）

1. 採收ノ時根群ノ全ク腐敗セルモノ

2. モザイック病斑アルモノ

第十六圖版

1

2

Y. Koyama, phot.

百合病害ニ關スル研究

第一報

技手 小山義孝

緒言

百合ハ觀賞植物トシテ又其ノ鱗莖ハ食用トシテ古來ヨリ珍重セラレタルモノニシテ近年ハ觀賞用トシテノ鐵砲百合(Iilium Iongifiarum. THUNB) 鹿ノ子百合(Lilium Specosum. THUNB) ノ栽培セラルヽモノ多ク其ノ大部分ハ歐米諸國ヘ輸出セラレ本邦輸出農產物中重要ナル地位ヲ占ムルモノニシテ年額3000萬球ニ及ブト云フ、然ルニ其ノ圃地ニ栽植中ハ勿論輸出後溫室ニ栽培中病害ニ犯サルヽモノ多ク甚ダシキハ80%ニ及ブノ慘狀ヲ呈スルモノニシテ漸ク世人ノ注意ヲ惹ニ至レリ。當場ニ於テ昭和二年ヨリ農林省ノ指定ニ依リ之ガ防除ニ關スル試驗ニ着手シテ以來種々實驗ヲ試ミタルヲ以テ其ノ成績ヲ纏メテ第一報トシテ爰ニ報告セントス。勿論目下研究中ニ屬スルヲ以テ詳細ハ後日報告ノ豫定ナリ。

本報告ヲナスニ當リ實驗中懇篤ナル御指導ト御援助ヲ賜リシ農林省藤巻技師ト藏囑託、農事試驗場田村技師、池野氏、寄生害虫ノ鑑定並ニ種族判定ヲ煩セシ木下技師、八木博士、試驗中常ニ懇切ナル鞭撻、指導ヲ賜リタル久保場長、實驗上種々勞苦ヲ煩シタル田村、大山、岡部ノ諸氏並ニ圃場試驗ニツキ多大ノ援助ニ預リシ多野郡神流村布施八重八氏ニ深甚ナル謝意ヲ表ス。

總論

百合ハ花卉園藝作物トシテ海外輸出品トシテ重要ナルモノニシテ我國農產物輸出品トシテ亦極メテ重要ナル位置ニアルモノトス、然ルニ最近各種ノ病害發生シ栽培上一大驚異ヲ與ヘタリ。現來百合ハ歐米ノ「イースター」及「クリスマス」ノ需要ヲ充ス爲メニ北緯32度西經64度ニ位スル Bermuda 諸島ニ於テ19世紀末ヨリ盛ニ栽培セラレタルモ一種ノVirus病ノ爲メニ歐米ニ於ケル聲價ヲ墜失シ從ツテ其ノ栽培モ漸次衰退スルニ至リ之ニ變リテ本邦ニ於ケル栽培ガ盛トナリ輸出作物トシテ關東各府縣特ニ埼玉、群馬ニ於テ盛ニ栽培セラレ最近ニ至リテ

ハ九州地方各縣特ニ鹿兒島、長崎兩縣ノ栽培ハ著シク增加セリ。

分類學上Iilium Iongiflorum Var. Eximum. (鐵砲百合) ニシテ Easter Iily ト呼バレテキルモノ最近ニ於テハ黑軸鐵砲百合、柳葉、東鄉、縣、島鐵砲等ノ名稱ヲ附セラレタルモノアルモ關東地方ニ於テハ大体黑軸鐵砲百合、九州地方ニアリテハ柳葉鐵砲又ハ島鐵砲ト稱スルモノノ栽培多キガ如シ。

病　　狀

百合ヲ犯ス病害ニハ種々アレドモ本縣ニ於ケル重ナルモノニ就キ病狀ヲ揭グレバ次ノ如シ。

1. 發芽當時ヨリ全体黃色ニシテ萎縮狀態ヲ呈シ伸長二三寸ニシテ葉ハ著シク捲垂シ下葉ヨリ漸次褐色ヲ呈シ枯葉ヲ始メ"Yellowflat.,,ト稱セラルベキモノ(Eig. 1) 斯ノ如キ症狀ヲ呈セル球根ヲ損スル場合ニハ球ノ下部ノ根ハ腐敗セラレ鱗片ノ下部腐敗黑變シ屢々シロトビムシモドキ(Aphorura Inermis Tull) ネダニ(Rhirogbyphus Echinopus Fumanze et Robin)ノ寄生スルヲ見ル。
2. 普通ノ發育ヲナシ伸長五六寸ノ頃(七月上中旬)ニ至リ下葉ヨリ漸次黃變シ褐色ニ變シ枯葉ヲ始メルモノニシテ葉ニハ全然病斑ヲ認メザルモ鱗莖ハ褐色ノ小斑點ヲ生ズ立枯病ト稱セラルルモノニシテ(Eig. 2) 病勢ノ進化セルモノニハ前者全樣根部腐敗シ鱗莖ノ基部又腐敗黑變スルモノアリ。
3. 前記病狀ヲ上部ヨリ呈スルモノニシテ俗ニ天枯レト稱セラレ特ニ花蕾ノ摘心後ニ於テ多ク發生スルヲ認メルモノニシテ被害ノ程度ハ前者ノ如クナラザルモ鱗莖肥大ニ相當影響スルモノノ如ク鱗莖ニ病斑ヲ生ズル事ハ極メテ稀ナルモ下部ノ根群ハ屢々腐敗スルヲ見ル。(Eig. 3)
4. 鐵砲百合(Iilium Iongiflorum) 及鹿ノ子百合(L. Speuosum) (L. Canalense) (L. C-superbum)ノ葉ニアラハレルモノニシテ病斑ハ不規則ナル淡綠色ノ部分ヨリナリ莖葉ニ異狀ヲ來タス普通ニ開花スルモノナルモ鱗莖ニハ黃褐色ノ斑點ヲ生ズ斯ノ如キモノヲ栽植スル場合ニハ次年ニ於テハ第5ノ如キ病狀ヲ呈ス。(Eig. 4)
5. 全葉面ニ絣狀ニ不規則ナル萎黃部ヲ生ジ花蕾ニモ全樣斑點ヲ生ズ爲ニ葉、花蕾共ニ充分ナル發育ヲナストコナク捲垂若クハ歪曲スルヲ常トス、然シテ全葉ハ黃綠色トナリ鱗莖ニハ必ズ黃褐色ノ斑點ヲ生ズ。(Eig. 5)

以上ノ病害ハ輸出先ニ於テハ勿論栽培地ニ於テモ問題トナリタルモノニシテ實驗ノ結果ハ次ノ通リナルモ本病ニ關シテハ相當古クヨリ研究セラレタルモノ

ニシテ多數ノ研究報告アリタルモ1927年紐育園藝協會(The Horticultural Society of New York)「ボーイス、トムソレ」植物研究所(The Boyce Thompson Jnstitute far Plant Research)紐育植物園(The Newyork Botanical Garden)「コーネル」大學(Cosnell University)等ニ依リ百合屬(Iilum)植物ノ各種病害ノ研究團体ガ創設セラレ最近グツタマン氏ハ詳細研究報告セラレテキル又本邦ニ於テモ最近ト藏梅之亟氏(40)(41)池野早苗氏(28)田中顯三氏(39)等ニ依リ各々發表ニナリ Lawrence Ggihoie, M. se. (Canlab). M. A. B. se. (Abdn) (28)ハ詳細實驗ノ結果 Yellov Flat ハ一種ノVirsニ起因スルモノナルヲ論斷シ蚜虫 Aphis Gossypii Glover ニ依リ媒介感染スル實驗ヲ報告セリ、外ニ Virs 病ニシテ「モザイツク」病 Mosaic Disease ヲ認メタリ、ト藏梅之亟氏(41)ハ本邦內地ニ於ケル被害ハ大部分立枯病ナラント倘又「モザイツク」病モ立枯病菌ノ寄生ニヨリ「モザイツク」狀ヲ呈スルモノト普通「ヴアイラス」性ノモノト二種アリト、オリバー氏ニ依レバ合衆國ニ於テ被害多キモノハ立枯病 Yellowflat 及 Mosaic Dcsease ノ三種ノ型アリト稱ス、倘又グツタマン氏ハ各種病害ヲ論究セラレ特ニ「モザイツク」病ニ就キ Virs ハ同一ナルモ三種ノ型ヲ現ハス旨論斷セリ、之等ニ對シ筆者ノ實驗次ノ如シ。

病圃ノ消毒ニ關スル試驗

百合病害ガ土壤傳染ヲナスモノトセバ土壤ノ消毒ニ依リ被害ヲ輕減シ連作ヲシテ可能ナラシムルヲ以テ次ノ方法ニ依リ土壤消毒試驗ヲ行ヘリ。

A. 土壤一坪ニ對シ「フオルマリン」液四分ノ一封度ニテ消毒ス。
B. 土壤一坪ニ對シ「フオルマリン」液半封度ノ割合ニテ消毒ス
C. 土壤一坪ニ對シ石灰硫黃合劑ボーメ比重三度液三升
D. 全　　上　　五度液
E. 土壤一坪ニ對シ水一斗生石灰一貫匁液三升
F. 標　　準

以上ハ鐵砲百合鹿ノ子百合ノ五寸球ヲ用ヒ鱗莖ハ水一斗生石灰一貫匁液ニ三十分間浸漬シテ風乾シタルモノヲ栽植シ莖葉ニハ三斗式石灰「ボルドウ」液ヲ六回撒布シ空氣傳染ニ依ツテ發病スル病害ヲ豫防ス。

一區ノ面積ヲ五坪宛トシ二區制ニ依ル。

昭和三年

試驗成績　第一表　鐵砲百合

區	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合
	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%
A	11.10	100	100	83	17	17	11.10	100	100	90	10	10
B	仝	100	100	90	10	10	仝	100	100	92	8	8
C	仝	100	100	87	13	13	仝	100	100	92	8	8
D	仝	100	100	89	11	11	仝	100	100	97	3	3
E	仝	100	100	91	9	9	仝	100	100	96	4	4
F	仝	100	100	81	19	19	仝	100	100	86	14	14

仝

試驗成績　第二表　鹿ノ子百合

區	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合
	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%
A	11.10	100	100	92	8	8	11.10	100	100	83	17	17
B	仝	100	100	93	7	7	仝	100	100	88	12	12
C	仝	100	100	90	10	10	仝	100	100	83	17	17
D	仝	100	100	93	7	7	仝	100	100	85	15	15
E	仝	100	100	93	7	7	仝	100	100	83	17	17
F	仝	100	100	66	34	34	仝	100	100	79	21	21

昭和四年

試驗成績　第一表　鐵砲百合

區	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合
	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%
A	11.25	100	93	81	12	12.9	11.25	100	76	72	4	5.4
B	仝	100	87	81	6	9.0	仝	100	53	49	4	7.6
C	仝	100	72	64	8	11.0	仝	100	42	36	6	14.3
D	仝	100	96	90	6	6.3	仝	100	57	51	6	11.2
E	仝	100	73	65	8	11.0	仝	100	79	73	6	7.6
F	仝	100	81	71	10	12.4	仝	100	76	66	10	13.2

仝

試驗成績　第二表　鹿ノ子百合

區	植付月日	植付個數	的芽數	健全數	發病數	發歩病合	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合
	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%
A	11.25	100	94	86	8	8.5	11.25	100	51	47	4	7.9
B	仝	100	100	86	14	14.0	仝	100	48	45	3	5.3
C	仝	100	100	96	4	4.1	仝	100	48	43	5	14.0
D	仝	100	93	83	10	10.8	仝	100	49	45	5	14.0
E	仝	100	98	88	10	10.0	仝	100	47	43	5	11·6
F	仝	100	93	79	14	15.1	仝	100	53	46	7	15.0

昭和五年

試驗成績　第一表　鐵砲百合

區	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合
	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%
A	11.12	80	80	61	19	2.3	11.12	80	80	58	22	25.7
B	仝	80	80	58	22	27.5	仝	80	80	61	19	25.7
C	仝	80	80	60	20	25.0	仝	80	80	62	18	23.4
D	仝	80	80	55	25	21.3	仝	80	80	66	14	19.4
E	仝	80	80	65	15	18.8	仝	80	80	63	17	20.0
F	仝	80	80	29	51	63.8	仝	80	80	28	52	63.2

仝

試驗成績　第二表　鹿ノ子百合

區	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合
	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%
A	11.12	80	80	57	23	28.8	11.13	80	80	51	29	36.3
B	仝	80	80	55	25	31.3	仝	80	80	53	27	33.8
C	仝	80	80	67	13	16.2	仝	80	80	59	21	26.3
D	仝	80	80	61	19	28.3	仝	80	80	46	34	42.5
B	仝	80	80	60	10	12.5	仝	80	80	69	15	18.8
F	仝	80	80	42	38	42.5	仝	80	80	32	48	60.0

昭和六年

試驗成績　第一表　鐵砲百合

區	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合
	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%
A	11.20	100	100	16	73	73	11.20	100	100	8	92	92
B	仝	100	100	66	33	33	仝	100	99	60	38	99
C	仝	100	99	0	98	99	仝	100	99	6	87	88
D	仝	100	99	5	93	94	仝	100	98	4	90	93
E	仝	100	98	22	26	27	仝	100	99	26	69	71
F	仝	100	100	29	65	65	仝	100	99	42	47	48

仝

試驗成績　第二表　鹿ノ子百合

區	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合	植付月日	植付個數	發芽數	健全數	發病數	發歩病合
	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%
A	11.30	50	50	29	19	28	11.20	50	50	15	29	58
B	仝	50	48	26	19	40	仝	50	50	27	13	26
C	仝	50	49	12	34	70	仝	50	49	20	26	53
D	仝	50	44	14	34	63	仝	50	50	18	30	60
E	仝	50	50	7	41	92	仝	50	50	4	45	90
F	仝	50	48	13	34	71	仝	50	50	10	38	76

昭和七年

試驗成績　第三表　鐵砲百合

區	植付月日	植付數	發芽數	健全數	發病數	發病歩合	植付月日	植付數	發芽數	健全數	發病數	發病歩合
	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%
A	11.15	50	49	49	—	—	11.15	50	48	46	2	4.2
B	全	50	49	49	—	—	全	50	48	48	—	—
C	全	50	49	48	1	2.0	全	50	47	35	12	25.5
D	全	50	47	40	8	17.0	全	50	39	26	13	33.3
E	全	50	48	46	2	4.3	全	50	43	43	—	—
F	全	50	49	39	10	20.4	全	50	44	31	13	29.5

試驗成績　第四表　鹿ノ子百合

區	植付月日	植付數	發芽數	健全數	發病數	發病歩合	植付月日	植付數	發芽數	健全數	發病數	發病歩合
	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%	月日	ケ	ケ	ケ	ケ	%
A	11.15	50	50	45	5	10.00	11.15	50	47	42	5	10.64
B	全	50	50	46	4	8.00	全	50	49	42	7	14.28
C	全	50	49	42	7	14.28	全	50	49	31	18	36.73
D	全	50	47	41	6	12.77	全	50	49	41	8	16.32
E	全	50	50	35	15	30.00	全	50	50	33	17	34.00
F	全	50	49	38	11	22.45	全	50	49	37	12	24.28

以上土壤消毒試驗ノ結果ハ「フオルマリン」消毒區極メテ成績良好ニシテ下部ヨリ發病スルモノ殆ンドナク完全ニ病害ヲ防止スルコトヲ得タリ、然ルニ石灰硫黄合劑區ハ反ツテ標準區ヨリ成育惡シク藥害ヲ蒙ルモノノ如シ、昭和六年ヨリハA區「フオルマリン」四分ノ一封度區ヲ「クロールピクリン」ニ變更セシモ結果ハ優良ナルモ(Fug8)經濟上「フオルマリン」ヲ有効ト認メ從來百合ノ連作ハ絶對ニ不可ナリトセラレタルモ反當100封度程度ニ「フオルマリン」ヲ使用スル場合ニハ完全ニ連作スルコトヲ得ルモノナリ。

鱗莖貯藏ニ關スル試驗

A. 鱗莖ヲ水一斗生石灰五百匁液ニ30分間浸漬

B. 鱗莖ヲ水一斗生石灰一貫匁液ニ30分間浸漬

C. 鱗莖ヲ二斗式石灰ボルドウ液中ニ30分間浸漬

D. 鱗莖ヲ三斗式石灰ボルドウ液中ニ30分間浸漬

E. 鱗莖ヲ千立方尺ニ對シフオルマリン500ccニテ五時間燻蒸ス

F. 鱗莖ヲ千立方尺ニ對シフオルマリン600ccニテ五時間燻蒸ス

G. 標　　準

以上ハ鐵砲百合鹿ノ子百合ノ六寸球ヲ用ヒ鱗莖消毒後ハ一定期間箱ニ入レ粘

土(標準ノ内一區ハ消石灰ニ粘土ヲ混ジタルモノヲ以テ塗刻ヲ填充ス)ヲ填充シ貯藏中ニ於ケル腐敗歩合ヲ調査シ後圃地ニ栽植シ發病歩合並ニ藥害等ヲ試驗ス

一區ヲ100球宛トシ二區制ニ依リ圃地ニ於テハ空氣傳染ニヨル病害ヲ防止スル爲メ三斗式石灰「ボルドウ」液ヲ撒布ス。

耕種梗概　表土五寸ヲ耕起シ畦巾二尺五寸株間七寸トシ甘藷蔓ヲ種球植付下部ニ敷込ム、植付深サ二寸ノ作條ヲ作リ種球ヲ植付テ約二寸伏土シ球ノ兩側ニ施肥シ再ビ約一寸伏土ヲナス。

昭和三年度

試驗成績　第一表　鐵砲百合　(施行10月14日)

區	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合
		月日	個	個	個	個	%		月日	個	個	個	個	%
A	—	11. 8	100	100	5	95	5	—	11. 8	100	100	17	83	17
B	—	全	100	100	3	97	3	—	全	100	100	9	91	9
C	—	全	100	100	20	80	20	—	全	100	100	21	79	21
D	—	全	100	100	12	88	12	—	全	100	100	18	82	18
E	—	全	100	100	26	74	26	—	全	100	100	23	77	23
F	—	全	100	100	1	99	1	—	全	100	100	2	98	2
G	—	全	100	100	26	74	26	—	全	100	100	25	75	25

試驗成績　第二表　鹿ノ子百合　(施行10月22日)

區	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合
		月日	個	個	個	個	%		月日	個	個	個	個	%
A	—	11. 9	100	100	1	99	1	—	11. 9	100	100	2	98	2
B	—	全	100	100	4	96	4	—	全	100	100	0	100	0
C	—	全	100	100	6	94	6	—	全	100	100	4	96	4
D	—	全	100	100	0	100	—	—	全	100	100	3	97	3
E	—	全	100	100	2	98	2	—	全	100	100	5	95	5
F	—	全	100	100	1	99	1	—	全	100	100	1	99	1
G	—	全	100	100	5	95	5	—	全	100	100	6	94	6

昭和四年度

試驗成績　第一表　鐵砲百合

區	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合
		月日	個	個	個	個	%		月日	個	個	個	個	%
A	—	11.25	100	87	5	82	7.5	—	11.25	100	84	8	76	9.6
B	—	全	100	87	5	82	7.5	—	全	100	85	17	68	20.0
C	—	全	100	82	8	74	9.8	—	全	100	86	20	66	23.5
D	—	全	100	80	10	70	12.5	—	全	100	76	13	63	17.1
E	—	全	100	86	9	77	10.5	—	全	100	96	5	91	5.2
F	—	全	100	85	16	69	18.9	—	全	100	76	21	55	27.3
G	—	全	100	90	15	75	16.7	—	全	100	86	20	66	23.1

試驗成績　第二表　鹿ノ子百合

區	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合
		月日	個	個	個	個	%		月日	個	個	個	個	%
A	—	11.25	100	89	7	82	7.2	—	11.25	100	94	11	83	2.2
B	—	仝	100	93	7	86	7.5	—	仝	100	100	5	95	0.5
C	—	仝	100	97	11	86	12.4	—	仝	100	92	18	74	19.6
D	—	仝	100	94	5	89	5.4	—	仝	100	95	13	82	13.7
E	—	仝	100	90	9	81	11.0	—	仝	100	87	21	66	24.2
F	—	仝	100	97	14	83	14.5	—	仝	100	90	9	81	11.0
G	—	仝	100	90	11	79	12.2	—	仝	100	83	18	65	21.4

昭和五年

試驗成績　第一表　鐵砲百合

區	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合
		月日	個	個	個	個	%		月日	個	個	個	個	%
A	—	11.13	100	100	18	82	18	—	11.13	100	100	30	70	30
B	—	仝	100	100	12	88	12	—	仝	100	100	—	100	—
C	—	仝	100	100	0	100	—	—	仝	100	100	4	96	4
D	—	仝	100	100	12	82	12	—	仝	100	100	20	80	20
E	—	仝	100	100	20	80	20	—	仝	100	100	22	78	22
F	—	仝	100	100	6	94	6	—	仝	100	100	6	94	6
G	—	仝	100	100	46	54	46	—	仝	100	100	46	54	46

試驗成績　第二表　鹿ノ子百合

區	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合
		月日	個	個	個	個	%		月日	個	個	個	個	%
A	—	11.13	100	100	16	84	16	—	11.13	100	100	12	88	12
B	—	仝	100	100	—	100	—	—	仝	100	100	4	96	4
C	—	仝	100	100	—	100	—	—	仝	100	100	3	97	3
D	—	仝	100	100	8	92	8	—	仝	100	100	13	87	13
E	—	仝	100	100	6	94	6	—	仝	100	100	22	78	22
F	—	仝	100	100	3	97	3	—	仝	100	100	11	89	11
G	—	仝	100	100	35	65	35	—	仝	100	100	36	64	36

昭和六年

試驗成績　第一表　鐵砲百合

區	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合
		月日	個	個	個	個	%		月日	個	個	個	個	%
A	—	11.18	100	91	14	77	15.9	—	11.18	100	100	33	65	33
B	—	仝	100	100	20	79	15	—	仝	100	100	28	68	28
C	—	仝	100	100	28	66	28	—	仝	100	100	30	67	30
D	—	仝	100	100	25	69	25	—	仝	100	100	24	64	24
E	—	仝	100	100	47	51	45	—	仝	100	100	25	71	25
F	—	仝	100	100	33	62	33	—	仝	100	100	22	73	22
G	—	仝	100	100	16	80	16	—	仝	100	100	25	75	25

試驗成績　第二表　鹿ノ子百合

區	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合
		月日	個	個	個	個	%		月日	個	個	個	個	%
A	—	11.18	50	50	13	21	26	—	11.18	50	49	28	12	57
B	—	仝	50	50	13	23	26	—	仝	50	49	25	19	71
C	—	仝	50	49	27	22	55	—	仝	50	48	20	25	42
D	—	仝	50	49	30	16	61	—	仝	50	47	29	16	62
E	—	仝	50	49	14	34	29	—	仝	50	49	24	21	48
F	—	仝	50	50	15	28	30	—	仝	50	50	24	21	48
G	—	仝	50	50	20	26	40	—	仝	50	49	29	14	59

昭和七年

試驗成績　第一表　鐵砲百合

區	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合
		月日	個	個	個	個	%		月日	個	個	個	個	%
A	—	11.17	100	90	26	64	28.9	—	11.17	100	53	10	43	18.9
B	—	仝	100	73	4	69	5.5	—	仝	100	79	9	70	11.4
C	—	仝	100	53	3	50	5.7	—	仝	100	59	5	54	8.5
D	—	仝	100	60	5	55	8.3	—	仝	100	48	5	44	10.4
E	—	仝	100	62	7	55	11.3	—	仝	100	52	12	40	23.1
F	—	仝	100	58	5	53	8.6	—	仝	100	56	10	46	17.9
G	—	仝	100	92	23	69	25.2	—	仝	100	88	21	67	23.9

試驗成績　第二表　鹿ノ子百合

區	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合	貯藏中腐敗數	植付	植付數	發芽數	發病數	健全數	發病歩合
		月日	個	個	個	個	%		月日	個	個	個	個	%
A	—	11.17	100	88	68	20	69.4	—	11.17	100	90	21	69	23.3
B	—	仝	100	96	84	12	65.9	—	仝	100	96	22	74	22.9
	—	仝	100	99	89	10	82.0	—	仝	100	92	18	74	19.6
D	—	仝	100	94	86	8	91.5	—	仝	100	98	24	74	24.5
E	—	仝	100	92	84	8	91.4	—	仝	100	98	22	76	22.5
F	—	仝	100	99	91	8	91.9	—	仝	100	96	14	82	14.6
G	—	仝	100	9[illegible]	66	22	69.6	—	仝	100	100	25	75	25.0

圃地ニ於ケル豫防試驗

百合病害ノ空氣傳染ヲナスモノニ對シ之カ防除ノ目的ヲ以テ施行セリ。

A. 三斗式ボルドウ液四回撒布

B. 三斗式ボルドウ液六回撒布

C. 四斗式ボルドウ液四回撒布

D. 四斗式ボルドウ液六回撒布

E. 標　　準

以上ハ鐵砲百合鹿ノ子百合ノ五寸球ヲ用ヒ鱗莖ハ水一斗生石灰一貫匁液中ニ30分間浸漬シタルモノヲ風乾シ栽植ス石灰ボルドウ液ノ撒布ハ3.5寸伸長セル頃ヨリ開始シ一週間乃至10日ヲ隔テ撒布スルモノトシ一回ハ必ズ摘心直後ニ行フモノトス。

昭和三年

試驗成績　第一表　鐵砲百合

區	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合
	個	月 日	個	月 日	個	%	個	月 日	個	月 日	個	%
A	200	11.10	195	6. 5	24	12.3	200	11 10	200	6. 5	29	15.0
B	200	仝	200	仝	10	5.0	200	仝	200	仝	12	6.0
C	200	仝	197	仝	22	11,2	200	仝	199	仝	36	18.0
D	200	仝	199	仝	9	4.6	200	仝	198	仝	10	4.9
E	200	仝	200	仝	41	20.5	200	仝	200	仝	45	22.5

試驗成績　第二表　鹿ノ子百合

區	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合
	個	月 日	個	月 日	個	%	個	月 日	個	月 日	個	%
A	200	11.10	200	6. 5	18	9.0	200	11.10	197	6. 5	11	5,0
B	200	仝	200	仝	7	3,5	200	仝	196	仝	8	3.7
C	200	仝	197	仝	20	10.0	200	仝	199	仝	21	10.0
D	200	仝	198	仝	7	3.4	200	仝	200	仝	6	3.0
E	200	仝	200	仝	39	195	200	仝	198	仝	40	20.0

昭和四年

試驗成績　第一表　鐵砲百合

區	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合
	個	月 日	個	月 日	個	%	個	月 日	個	月 日	個	%
A	300	11.25	282	6.15	34	12.1	300	11.25	278	6.15	44	15,8
B	300	仝	293	仝	12	4.2	300	仝	285	仝	40	14.0
C	300	仝	295	仝	22	7.5	300	仝	300	仝	96	31.9
D	300	仝	286	仝	10	3.5	300	仝	294	仝	45	15.3
E	300	仝	299	仝	36	12.5	300	仝	300	仝	70	23.2

試驗成績　第二表　鹿ノ子百合

區	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合
	個	月 日	個	月 日	個	%	個	月 日	個	月 日	個	%
A	200	11.25	200	6.15	18	9.1	200	11.15	200	6.15	21	10.5
B	200	仝	198	仝	8	4.0	200	仝	200	仝	11	5.5
C	200	仝	180	仝	22	12.2	200	仝	190	仝	25	13.2
D	200	仝	200	仝	14	7.0	200	仝	195	仝	17	8.8
E	200	仝	192	仝	20	14.0	200	仝	186	仝	23	12.4

昭和五年

試驗成績　第一表　鐵砲百合

區	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合
	個	月 日	個	月 日	個	%	個	月 日	個	月 日	個	%
A	200	11.13	197	6.10	25	14.9	300	11.13	290	6.10	43	15.1
B	200	仝	195	仝	19	10.3	300	仝	280	仝	21	7.4
C	200	仝	200	仝	20	10.1	300	仝	180	仝	13	7.2
D	200	仝	200	仝	20	10.3	300	仝	192	仝	18	3.4
E	200	仝	200	仝	9	4.7	300	仝	138	仝	10	7.3

試驗成績　第二表　鹿ノ子百合

區	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合
	個	月 日	個	月 日	個	%	個	月 日	個	月 日	個	%
A	100	11.12	100	6.10	18	18	200	11.12	195	6.10	32	16.4
B	100	仝	100	仝	7	7	200	仝	198	仝	18	9.1
C	100	仝	100	仝	8	8	200	仝	200	仝	12	6.0
D	100	仝	100	仝	8	8	200	仝	200	仝	17	8.6
E	100	仝	100	仝	7	7	200	仝	191	仝	13	7.0

昭和六年

試驗成績　第一表　鐵砲百合

區	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合
	個	月 日	個	月 日	個	%	個	月 日	個	月 日	個	%
A	200	11.19	189	5.10	8	4.2	200	11.19	200	11.10	1	0.5
B	200	仝	192	仝	1	0.5	200	仝	198	仝	2	1.0
C	200	仝	197	仝	2	1.1	200	仝	200	仝	6	3.0
D	200	仝	197	仝	—	—	200	仝	200	仝	10	5.0
E	200	仝	200	仝	—	—	200	仝	198	仝	—	—

試驗成績　第二表　鹿ノ子百合

區	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合	植付個數	植付月日	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	發病歩合
	個	月 日	個	月 日	個	%	個	月 日	個	月 日	個	%
A	100	11.19	100	5.10	7	7	100	11.19	100	5.10	1	1
B	100	仝	100	仝	4	4	100	仝	100	仝	1	1
C	100	仝	100	仝	1	1	100	仝	98	仝	5	5.1
D	100	仝	100	仝	5	5	100	仝	100	仝	7	7
E	100	仝	100	仝	3	3	100	仝	100	仝	3	5

昭和七年

試驗成績　第一表　鐵砲百合

區	植付數	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	健全數	發病歩合	植付數	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	健全數	發病歩合
	個	個	月 日	個	個	%	個	個	月 日	個	個	%
A	320	294	5.11	40	254	13.7	320	313	5.11	16	287	5,1
B	320	303	仝	21	232	6.9	320	309	仝	5	304	1.6
C	320	309	仝	18	291	5.8	320	304	仝	13	291	4.3
D	320	295	仝	18	277	6.1	320	300	仝	8	292	2.7
E	320	303	仝	42	261	13.9	320	309	仝	24	285	7.8

試驗成績　第二表　鹿ノ子百合

區	植付數	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	健全數	發病歩合	植付數	發芽數	藥劑撒布開始月日	發病數	健全數	發病歩合
	個	個	月日	個	個	%	個	個	月日	個	個	%
A	160	152	5.11	16	136	10.5	160	152	5.11	10	142	6.6
B	160	155	仝	9	146	5.8	160	149	仝	8	141	5.4
C	160	152	仝	6	146	3.9	160	152	仝	8	144	5.3
D	160	154	仝	6	148	3.8	160	150	仝	6	144	4.0
E	160	151	仝	17	134	11.3	160	152	仝	21	131	13.8

百合病害罹病程度ノ發育ニ及ボス影響試驗（昭和六年度）

一、試驗ノ目的　輸出用花百合ノ病害ニ犯サルルモノ多ク爲ニ其聲價ヲ失墜スルヲ以テ如何ナル程度ニ發病セルモノガ翌年ノ發育ニ影響スルヤヲ驗知シ圃塲拔取ノ參考ニ供セントス。

一、試驗方法　七月下旬百合栽培地ニ於テ發病ノ程度ニ依リ記號ヲ付シ置キ普通堀取期ニ收穫シ攝氏36度ニ冷藏スルコト一週間ニシテ攝氏32度ノ冷藏室ニ入レ二週間放置シタルモノヲ温室ニテ普通栽培ヲナス。

一、試驗施行場所　前橋市田中町植光園溫室

一、試驗區別

A. 下部ヨリ發病全部枯死（圃地ニ於テ下部ヨリ枯葉ヲ始メ全部枯葉ス）

B. 下部ヨリ發病半分枯死（仝　上　半分枯葉セルモノ）

C. 下部二三葉黃變セルモノ

D. 上部ヨリ發病全部枯死（上部ヨリ枯葉ヲ始メ全体枯葉セルモノ）

E. 上部ヨリ發病半分枯死（上部半分丈枯葉セルモノ）

F. 上部三分一枯死（上部三分一枯葉セルモノ）

G. 全葉モザイック病斑

H. 根無シ（掘取ノ際鱗葦ニ全然根ノ無キモノ）

I. 標　準（健全株）

一、調査方法　發病並ニ開花ヲ調査ス。

成績表　鐵砲百合

A. 下部ヨリ發病全部枯死

試驗番號		發芽月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8日	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全上丈草	第七回調査 4月12日	第八回調査 4月28日	花蕾數
		月日							寸			個
1	+	12. 1	異狀ナシ	—	—	—	モザイック病	全	5.5	モザイック下葉枯死	全	2
2	−	11.29	異狀ナシ	—	—	—	—	—	6.5	—	—	4
3	+	11.26	異狀ナシ	—	—	—	—	—	6.5	モザイック	全	6
4	+	12. 1	モザイック	全	全	全	全	全	3.5	モザイック	全	—
5	+	12. 3	異狀ナシ	モザイック	全	全	全	全	4.0	モザイック	全	3
6	+	12. 3	葉一枚伸長セズ	全	全	全	枯死					
7	+	12. 4	下葉腐敗	全	全上モザイック	全	全	全	4.5	半分枯死	枯死	
8	+	發芽セズ										
9	+	發芽セズ										
10	+	發芽セズ										
11	+	12. 1	下葉黃變	下葉腐敗	半分枯死	全体枯死						
12	+	發芽セズ										
13	+	11.28	異狀ナシ	—	モザイック下部黃變	全	全	全	5.5	枯死		
14	−	11.24	異狀ナシ	—	—	—	—	—	6.5	異狀ナシ	—	2
15	+	12. 1	枯死									
16	+	發芽セズ										
17	+	11.26	下部ヨリ黃變	全	下葉腐敗	下部半分腐敗	全	全	4.0	枯死	枯死	
		發病歩合			88.1%							

B. 下部ヨリ發病半分枯死　鐵砲百合

試驗番號		發芽月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8日	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全上丈草	第七回調査 4月12日	第八回調査 4月28日	花蕾數
		月日							寸			個
1	−	11.26	異狀ナシ	—	モザイック	全	全	全	5.0	全	モザイック	3
2	−	11.24	異狀ナシ	—	—	—	—	—	6.5	—	異狀ナシ	4
3	−	11·23	異狀ナシ	—	—	—	—	—	8.5	—	異狀ナシ	4
4	+	11.26	萎縮	全	全	全	全	萎縮下葉枯死	1.5	全	枯死	
5	+	11.29	異狀ナシ	—	下葉モザイック	下葉腐敗	全	モザイック枯葉	6.0	全	モザイック枯葉	—
6	+	11.27	異狀ナシ	モザイック	全	モザイック下葉枯死	全	全	6.5	全	モザイック下葉枯死	4
7	+	11.22	異狀ナシ	全	—	下葉枯死	全	全	7.0	モザイック下葉枯死	モザイック下葉枯死	3
8	+	11. 5	萎縮	—	全	全	下葉枯死	半分枯葉	4.5	枯死		
9	+	11.28	異狀ナシ	モザイック	全	全	全	下葉枯死	7.5	モザイック枯死		

試驗番號		發芽月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8日	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全草上丈	第七回調査 4月12日	第八回調査 4月28日	花蕾數
10	−	11.28	異狀ナシ	−	−	−	−	下葉モザイック	8.0寸	全	下葉モザイック	5
11	+	11.26	異狀ナシ	−	モザイック發病	全	全	全	6.0	全	モザイック	−
12	+	11.26	發病	下葉枯死	全	半分枯葉	全	枯葉	4.5	枯死		
13	+	12. 1	萎縮	全	モザイック萎縮	全	全	全	4.0	全	モザイック萎縮	1
14	+	11.25	萎縮	全	全	全	全	枯死	1.5			
15	+	11.29	萎縮	枯死								
16	+	11.19	枯死									
17	+	11.25	異狀ナシ	モザイック	上部枯死							
18	+	11.27	異狀ナシ	下葉黄變	全	全	全	下葉枯死	6.5	全	下葉枯死	2
19	+	11.26	異狀ナシ	−	−	下葉黄變	全	モザイック	5.0	全	モザイック	−
20	+	11.26	黄變	全	下葉枯死	全	全	下葉枯死モザイック	6.5	全	下葉枯死モザイック	−

發病歩合　75%

C. 下部二三枚黄變セルモノ

試驗番號		發芽月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8日	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全草上丈	第七回調査 4月12日	第八回調査 4月28日	花蕾數
1	+	11.24	異狀ナシ	−	下葉枯死	全	全	全	8.5寸	全	下葉枯死	5個
2	+	12. 1	異狀ナシ	モザイック	全	モザイック下葉枯死	全	全	5.0	全	モザイック	4
3	−	11.28	異狀ナシ	−	−	−	−	−	6.5	−	異狀ナシ	4
4	−	11.23	異狀ナシ	−	−	−	−	−	7.0	−	異狀ナシ	5
5	−	11.26	異狀ナシ	−	−	−	−	−	6.8	−	異狀ナシ	4
6	+	11.25	下葉黄變	全	全	全	全	下葉枯死	7.0	モザイック	全	5
7	+	11.24	萎縮	全	全上下葉枯死	全	全	全	2.0	枯死		−
8	+	11.25	異狀ナシ	モザイック	下葉枯死	全	全	全	9.0	全	モザイック	5
9	−	11.23	異狀ナシ	−	−	−	−	−	7.0	−	異狀ナシ	5
10	+	11.26	異狀ナシ	モザイック	全	全	全	下葉枯死	6.8	全	モザイック	3
11	+	11.24	異狀ナシ	−	下葉黄變	下葉枯死	全	全	6.0	モザイック	全	2
12	+	11.24	異狀ナシ	モザイック	全	全	全	全	9.5	全	モザイック	5
13	+	1. 2	萎縮	全	モザイック斑點生ズ	下葉枯死	全	全	4.5	全	下葉枯死	−
14	+	11.25	下葉黄變	モザイック	下葉枯死	半分下枯葉	全	半分下枯死	4.5	全	半分下枯死	−
15	+	11.30	異狀ナシ	モザイック	全	全	全	下葉枯死	6.5	全	下葉枯死	4
16	−	11.21	異狀ナシ	−	−	−	−	−	6.0	−	異狀ナシ	4
17	−	11.25	異狀ナシ	−	−	−	−	−	5.5	−	異狀ナシ	4
18	−	11.18	異狀ナシ	−	−	−	−	−	5.5	−	異狀ナシ	4
19	+	12.25	異狀ナシ	モザイック	全上下葉枯死	全	全	下部枯死	5.0	全	枯葉	−

試驗番號		發芽月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8日	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全草上丈	第七回調査 4月12日	第八回調査 4月28日	花蕾數
20	+	11.26	異狀ナシ	全	下葉黄變	全	下葉枯死	モザイック	5.5	全	モザイック	3

發病歩合　65%

D. 上部ヨリ發病全部枯死

試驗番號		發芽月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8日	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全草上丈	第七回調査 4月12日	第八回調査 4月28日	花蕾數
1	+	發芽セズ										個
2	+	12.10	異狀ナシ	下葉枯死	全	全	モザイック下葉枯死	全	9.0寸	全	モザイック下葉枯死	2
3	+	11.30	萎縮	全	下葉枯死	下葉枯死モザイック	全	全	4.0	全	モザイック	
4	+	發芽セズ										
5	+	發芽セズ										
6	+	發芽セズ										
7	+	12.25	伸長セズ									
8	+	12.10	伸長セズ									
9	+	11.30	萎縮	全	全	モザイック	全	全	3.0	全	モザイック	5

發病歩合　100%

E. 上部ヨリ發病半分枯死

試驗番號		發芽月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8日	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全草上丈	第七回調査 4月12日	第八回調査 4月28日	花蕾數
1	−	11.29	異狀ナシ	−	−	−	−	−	7.0寸	下葉黄變	全	個 4
2	−	11.25	異狀ナシ	−	−	−	−	−	7.9	−	異狀ナシ	4
3	+	11.24	モザイック	モザイック	全	全	全	下葉枯死	10.3	全	下葉枯死	4
4	+	11.30	異狀ナシ	−	モザイック下葉黄變	モザイック下葉枯死	全	枯死	4.5			
5	+	12. 5	萎縮	モザイック	全	下葉枯死	全	枯死	3.5			
6	+	12. 2	萎縮	全	全	モザイック	下葉枯死	枯死	4.0			
7	+	11.27	異狀ナシ	−	−	モザイック	全	モザイック下葉枯死	13.0	モザイック下葉枯死	全	5
8	+	12. 1	萎縮	全	下葉枯死	全	枯死					
9	+	12.11	異狀ナシ	モザイック	全	全	下葉枯死	全	8.5	全	モザイック	3
10	+	12. 4	異狀ナシ	−	全	モザイック下葉枯死	全	枯死	7.0			
11	+	12.20	異狀ナシ	−	−	−	モザイック	モザイック下葉枯死	4.0	萎縮枯死		
12	+	12. 2	異狀ナシ	−	−	−	下葉枯死	全	7.5	全	モザイック下葉枯死	4
13	−	12. 2	異狀ナシ	−		−	−	−	7.5	−	異狀ナシ	4
14	+	12. 1	異狀ナシ	モザイック	−	全	全	全	9.0	全	モザイック	5

試驗番號		發芽月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8月	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全草丈	第七回調査 4月12日	第八回調査 4月28日	花蕾數
		月日							寸			個
15	+	1.12	伸長セズ	全	全	全	枯死					
16	+	12. 2	モザイック	全	下葉枯死	全	全	枯死	3.0			
17	—	12.19	異狀ナシ	—	—	—	—	—	6.0	—	異狀ナシ	4
18	—	12. 5	異狀ナシ	—	—	—	—	—	8.0	—	異狀ナシ	4
19	+	12.10	異狀ナシ	下葉黃變	モザイック	下葉枯死	全	全	7.0	全	下葉枯死	4
20	—	12. 1	異狀ナシ	—	—	—	—	—	7.0	—	異狀ナシ	1
發病歩合			70%									

F. 上部三分ノ一枯死　鐵砲百合

試驗番號		發芽月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8日	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全草丈	第七回調査 4月12日	第八回調査 4月28日	花蕾數
		月日							寸			
1	+	11.30	異狀ナシ	モザイック	全	下葉枯死	全	半分枯死	5.0	全	枯死	
2	+	11.26	異狀ナシ	全	全	下葉枯死	全	萎縮	3.0			
3	+	11.28	萎縮	枯死	—							
4	—	11.26	異狀ナシ	全	全	全	全	下葉黃變	5.0	全	下葉黃變	4
5	+	12.21	モザイック	全	全	全	萎縮	全	2.5	枯死		
6	+	12.10	萎縮	全	モザイック	枯死						
7	—	12. 6	異狀ナシ	—	—	—	—	—	5.5	—	異狀ナシ	6
8	+	12. 4	異狀ナシ	—	モザイック	下葉枯死	全	枯死	5.0			
9	—	12. 1	異狀ナシ	—	—	—	—	—	4.0	—	異狀ナシ	4
10	—	11.27	異狀ナシ	—	—	—	—	—	5.0	—	異狀ナシ	4
11	+	12. 9	萎縮	全	全	モザイック	全	枯死	1.5			
12	—	11.29	異狀ナシ	—	—	—	—	—	5.0	—	異狀ナシ	5
13	—	11.26	異狀ナシ	—	—	—	—	—	6.5	—	異狀ナシ	3
14	—	12. 2	異狀ナシ	—	—	—	—	—	5.0	—	異狀ナシ	3
15	+	12. 4	異狀ナシ	—	モザイック	全	全	全	6.0	全	モザイック	5
16	+	12. 1	萎縮	全	下葉枯死	枯死						
17	+	1. 2	萎縮	全	全	全	全	全	1,5	全	萎縮	
18	—	11.18	異狀ナシ	—	—	—	—	—	10.0	—	異狀ナシ	5
19	—	11.21	異狀ナシ	—	—	—	—	—	7.0	—	異狀ナシ	4
20	—	11.22	異狀ナシ	—	—	—	—	—	6.5	—	異狀ナシ	4
發病歩合			50%									

G. 全体モザイック病被害ノモノ　鐵砲百合

試驗番號		發芽月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8日	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全草丈	第七回調査 4月12日	第八回調査 4月28日	花蕾數
		月日							寸			個
1	+	12. 6	モザイック	萎縮	全	全	下葉枯死	全	5.5	全	モザイック下葉枯死	5
2	+	12.10	モザイック	全	全	全	全	全	8.0	全	モザイック	5
3	+	11.28	モザイック	全	全	全	全	全	9.0	全	モザイック	6
4	—	12. 3	萎縮	全	モザイック	全	全	全	4.5	全	モザイック	5
5	—	12. 3	萎縮	全	全	モザイック	全	全	4.0	全	モザイック	5
6	+	發芽セズ										
7	+	12. 3	モザイック	全	下葉枯死	全	全	全	6.5	全	モザイック下葉枯死	4
8	+	12. 2	モザイック	全	モザイック下葉枯死	全	全	全	7.0	全	モザイック下葉枯死	8
9	+	12. 5	萎縮黃變	全	全	全	枯死					
10	+	12. 4	萎縮	全	全	全	モザイック	全	5.5	全	モザイック	3
11	+	12. 2	異狀ナシ	—	—	モザイック	萎縮	全	3.5	全	萎縮	
12	+	12. 6	萎縮	全	全	モザイック	全	全	3.5	全	モザイック	2
13	+	1.25	萎縮	全	全	全	全	全	3.0	枯死		
14	+	12. 1	モザイック	全	全	全	全	全	8.0	全	モザイック	8
15	+	12. 8	モザイック	全	全	全	全	全	7.5	全	モザイック	9
16	+	12. 1	異狀ナシ	—	—	—	—	—	11.0	—	異狀ナシ	11
17	+	11.26	異狀ナシ	—	—	—	—	—	9.5	—	異狀ナシ	7
18	+	12. 6	異狀ナシ	—	モザイック	全	全	全	4.5	全	モザイック	3
19	+	12. 4	モザイック	全	全	全	全	全	9.5	全	モザイック	7
20	+	12. 6	モザイック	全	全	全	全	全	8.5	全	モザイック	6
發病歩合			90%									

H. 根無シ　鐵砲百合

試驗番號		發芽月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8日	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全草丈	第七回調査 4月12日	第八回調査 4日28日	花蕾數
		月日							寸			個
1	—	12. 7	異狀ナシ	—	—	—	—	—	8.0	—	異狀ナシ	1
2	—	12. 4	異狀ナシ	—	—	—	—	—	7.5	—	異狀ナシ	5
3	+	12.28	發育不良	全	萎縮	全	全	全	1.5	全	萎縮	0
4	+	12.10	萎縮	全	全	全	全	全	3.0	全	萎縮	1
5	+	12. 3	異狀ナシ	モザイック	全	全	全	全	7.5	全	モザイック	5
6	—	11.25	異狀ナシ	—	—	—	—	—	5.5	—	異狀ナシ	3
7	+	12. 4	異狀ナシ	—	モザイック	全	全	全	11.0	全	モザイック	5
8	—	11.26	異狀ナシ	—	—	—	—	—	8.0	—	異狀ナシ	5
9	+	12. 3	萎縮	全	モザイック萎縮	全	全	全	3.0	枯死		

試驗番號		發芽月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8日	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全上丈草	第七回調査 4月12日	第八回調査 4月28日	花蕾數
		月 日							寸			個
10	+	11.27	異狀ナシ	—	—	—	—	モザイツク	10.0	全	モザツイク	3
11	—	11.27	異狀ナシ	—	—	—	—	—	6.0	—	異狀ナシ	3
12	+	12.4	萎縮	全	全	全	枯死					
13	—	12.7	異狀ナシ	—	—	—	—	—	10.5	—	異狀ナシ	5
14	+	12.11	異狀ナシ	—	モザイツク	全	全	全	6.5	全	モザイツク	3
15	+	12.4	萎縮	全	全	全	全	全	1.5	全	萎縮	—
16	+	11.30	異狀ナシ	—	—	ザモイツク	全	全	8.0	全	モザイツク	4
17	+	12.25	枯死									
18	—	11.26	異狀ナシ	—	—	—	—	發育不良	4.5	全	發育不良	1
19	+	12.8	モザイツク	全	全	全	全	全	6.5	全	モザイツク	3
20	—	12.8	異狀ナシ	—	—	—	—	—	6.5	—	異狀ナシ	3

發病歩合　60%

I. 標準(健全株)　鐵砲百合

試驗番號		發芽月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8日	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全上丈草	第七回調査 4月12日	第八回調査 4月28日	花蕾數
		月 日							寸			個
1	—	11.30	異狀ナシ	—	—	—	—	—	10.5	—	異狀ナシ	5
2	—	11.30	異狀ナシ	—	—	—	—	—	7.5	—	異狀ナシ	5
3	—	11.27	異狀ナシ	—	—	—	—	—	9.5	—	異狀ナシ	6
4	—	11.26	異狀ナシ	—	—	—	—	—	13.0	—	異狀ナシ	6
5	—	11.29	異狀ナシ	—	—	—	—	—	8.0	—	異狀ナシ	9
6	+	11.26	異狀ナシ	モザイツク	—	全	全	全	7.5	全	モザイツク	4
7	—	11.27	異狀ナシ	—	全	—	—	—	10.0	—	異狀ナシ	3
8	—	11.26	異狀ナシ	—	—	—	—	—	7.5	—	異狀ナシ	5
9	+	11.24	異狀ナシ	—	—	全	モザイツク下葉枯死	全	9.5	全	モザイツク下葉枯死	2
10	—	11.28	異狀ナシ	—	モザイツク	—	—	—	10.5	—	異狀ナシ	5
11	+	11.25	異狀ナシ	—	—	—	モザイツク	全	10.0	全	モザイツク	6
12	—	11.24	異狀ナシ	—	—	—	—	—	9.0	—	異狀ナシ	5
13	—	11.29	異狀ナシ	—	—	—	—	—	9.0	—	異狀ナシ	7
14	+	11.29	異狀ナシ	—	—	モザイツク	全	全	10.5	全	モザイツク	6
15	—	11.26	異狀ナシ	—	—	—	—	—	12.5	—	異狀ナシ	7
16	—	11.25	異狀ナシ	—	—	—	—	—	13.0	—	異狀ナシ	7
17	—	11.25	異狀ナシ	—	—	—	—	—	10.0	—	異狀ナシ	5
18	+	11.20	異狀ナシ	—	—	モザイツク	全	モザイツク下葉枯死	8.0	全	モザイツク下葉枯死	5
19	—	11.20	異狀ナシ	—	—	—	—	—	8.0	—	異狀ナシ	5

試驗番號		發芽月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8日	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全上丈草	第七回調査 4月12日	第八回調査 4月28日	花蕾數
		月 日							寸			
20	—	11.19	異狀ナシ	—	—	—	—	—	8.0	—	異狀ナシ	6

發病歩合　25%

備考　以上「モザイツク」トアルハ斑點ヲ生ジタルモノニシテ枯死トアルハ腐敗枯死セルモノ萎縮トアルハ黃色ニ變ジ發育セザルモノナリ

百合病害罹病程度ノ發育ニ及ボス影響試驗（昭和七年度）

一、試驗目的　前年度ニ仝ジ

一、試驗方法　前年度ニ仝ジ

一、試驗施行場所　前年度ニ仝ジ

一、試驗區別

A. 下部ヨリ發病全部枯死（圃地ニ於テ下部ヨリ枯葉ヲ始メ全部枯葉ス）

B. 下部ヨリ發病半分枯死（仝上半分枯葉セルモノ）

C. 下部二三葉黃色

D. 上部ヨリ發病全部枯死（上部ヨリ枯葉ヲ始メ全体枯葉セルモノ）

E. 上部ヨリ發病半分枯死（上部半分丈枯葉セルモノ）

F. 上部ヨリ發病三分ノ一枯葉（上部三分ノ一枯葉セルモノ）

G. 全葉モザイツク病斑

H. 標準

一、調査方法　發病竝ニ開花ヲ調査ス

成績表　鐵砲百合

A. 下部ヨリ發病全部枯死

試験番號		發芽月日	草丈 1月7日	第一回調査 1月10日	第二回調査 1月19日	第三回調査 1月25日	第四回調査 2月8日	草丈 2月9日	第五回調査 2月23日	第六回調査 3月11日	全上草丈	花蕾數
		月日	寸					寸			寸	個
1	+	12. 5	2.0	下黄腐敗	萎縮	全	全	3.7	全	萎縮腐敗	4.0	
2	+	12. 9	1.5	モザイック	萎縮	全	全	2.8	全	萎縮	2.5	
3	+	12.13	2.0	モザイック	萎縮	全	全	4.2	全	萎縮	4.5	
4	+	12. 2	4.5	モザイック	全	下葉腐敗	全	8.1	全	下葉枯死	10.0	
5	+	12.13	2.0	下葉腐敗	萎縮	全	全	3.9	全	萎縮 下葉腐敗	4.5	
6	+	12. 9	2.5	モザイック	全	全	全	5.0	全	萎縮 下葉枯死	5.0	
7	+	11.28	4.0	異狀ナシ	—	—	—	5.3	萎縮初	萎縮	8.1	4
8	+	12. 4	2.5	モザイック	萎縮	全	全	4.0	全	萎縮 下葉枯死	4.5	
9	+	12. 5	2.3	モザイック	萎縮	全	下葉腐敗	3.5	全	萎縮 下葉枯死	3.8	
10	+	12. 5	2.6	モザイク	萎縮	全	全	4.4	全	萎縮 下葉枯死	5.0	
11	+	12. 8	2.0	萎縮	全	全	全	3.2	全	萎縮	3.0	
12	+	12. 6	2.0	モザイック	萎縮	全	全	1.8	全	腐敗枯死		
13	+	12. 4	2.2	萎縮初メ	萎縮	全	全	2.0	全	腐敗枯死		
14	+	12. 5	2.8	萎縮初メ	萎縮	全	全	3.1	下葉腐敗	萎縮 下葉腐敗	4.0	
15	+	11. 7	1.6	モザイック	萎縮	全	全	2.5	全	萎縮腐敗	3.2	
16	+	發芽セズ										
17	+	12. 5	4.0	モザイック 斑點	全	全	全	7.1	下葉腐敗	半分枯死	7.9	5
18	+	12.13	2.0	モザイック	萎縮	全	全	3.5	全	下葉枯死	4.5	
19	+	12. 5	3.5	異狀ナシ	モザイック	全	全	5.6	全	下葉腐敗	6.5	4
20	+	12. 5	2.5	モザイック	萎縮	全	全	4.5	全	萎縮 下葉腐敗	5.0	
21	+	12. 5	4.0	モザイック 綠斑	全	全	全	7.2	全	下葉腐敗	8.0	3
22	+	12. 9	2.8	モザイック	萎縮	全	全	4.0	全	萎縮 下葉腐敗	3.5	
23	+	12. 3	4.0	異狀ナシ	—	—	モザイック 黄斑	7.0	下葉腐敗	下葉腐敗	7.0	4
24	+	12.30	1.4	異狀ナシ	—	萎縮	全	1.6	全	枯死		
25	+	12. 5	2.0	モザイック	萎縮	全	下葉腐敗	2.2	全	萎縮 下葉腐敗	2.5	
26	+	12. 5	1.3	モザイック	萎縮	全	全	2.0	全	萎縮 下葉腐敗	2.4	
27	+	12. 5	2.5	モザイック	萎縮	全	全	3.9	全	下葉枯死	4.2	
28	+	12. 3	2.3	下葉腐敗	萎縮	全	全	4.0	全	萎縮 下葉腐敗	3.5	
29	+	12. 4	1.8	萎縮	全	全	全	2.2	全	下葉腐敗	2.8	
30	+	12. 9	0.7	萎縮	全	全	全	1.3	全	萎縮 下葉腐敗	2.0	

發病歩合 100%

B. 下部ヨリ發病半分枯死

試験番號		發芽月日	草丈 1月7日	第一回調査 1月10日	第二回調査 1月19日	第三回調査 1月25日	第四回調査 2月8日	草丈 2月9日	第五回調査 2月23日	第六回調査 3月11日	全上草丈	花蕾數
		月日	寸					寸			寸	個
1	+	12. 9	腐敗枯死									
2	+	12. 5	2.5	異狀ナシ	萎縮	全	全	4.1	全	萎縮 下葉枯死	4.0	
3	+	12. 4	5.0	異狀ナシ	--	—	モザイック	9.1	全	下葉枯死	10.0	7
4	+	12. 5	2.4	異狀ナシ	萎縮	全	全	4.2	全	萎縮 下葉枯死	4.2	
5	+	發芽セズ										
6	+	12. 5	1.5	モザイック	萎縮		全	3.1	全	下葉枯死	3.0	
7	+	12. 9	2.0	モザイック	萎縮	腐敗枯死						
8	+	12. 5	2.3	モザイック	全	全	全	4.3	全	萎縮	4.0	
9	+	12. 4	4.8	異狀ナシ	—	—	モザイック 黄點	9.0	全	モザイック 下葉枯死	10.2	5
10	+	11.28	4.0	異狀ナシ	—	—	萎縮	7.3	全	モザイック	9.7	7
11	+	11. 8	2.0	モザイック	萎縮	全	全	4.0	全	下葉枯死	3.8	
12	+	12. 5	2.3	モザイック	萎縮	全	全	4.5	全	半分枯死	4.5	
13	+	12. 9	1.5	萎縮	全	全	全	2.5	全	下葉枯死	2.5	
14	+	12.13	1.8	萎縮	全	全	全	2.2	全	下葉枯死	2.7	
15	+	12.12	2.3	萎縮	全	全	全	4.0	全	下葉枯死	5.0	
16	+	12. 9	腐敗	腐敗枯死								
17	+	12. 2	2.7	モザイック	萎縮	全	下葉腐敗	3.4	全	萎縮 半分枯死	3.0	
18	+	12. 4	3.0	モザイック	全	萎縮初メ	萎縮	5.5	全	下葉枯死	5.0	1
19	+	12. 4	4.0	モザイック 綠斑	全	全	下葉腐敗	6.5	萎縮	下葉枯死	7.0	2
20	+	11.28	4.0	モザイック 黄點	全	全	全	7.2	全	萎縮	7.2	
21	+	12. 9	2.0	モザイック	全	全	全	3.0	全	萎縮 下葉腐敗	3.0	
22	+	12. 9	2.5	モザイック	萎縮	全	全	3.3	全	下葉腐敗	3.5	
23	+	12. 9	2.0	モザイック	萎縮	全	全	3.4	全	下葉腐敗	3.2	
24	+	12. 5	2.2	モザイック	萎縮	全	全	4.3	全	下葉腐敗	4.5	
25	+	12. 5	2.8	モザイック	萎縮	全	全	4.2	全	下葉腐敗	4.5	
26	+	12. 3	2.8	モザイック 黄點	全	全	全	5.2	萎縮	下葉枯死	5.0	
27	+	11.29	2.5	モザイック	全	全	全	4.9	全	萎縮 下葉枯死	5.3	
28	+	12. 5	1.0	モザイック	萎縮	全	腐敗枯死					
29	+	12. 9	2.0	モザイック	全	全	全	3.6	萎縮	萎縮 下葉枯死	4.2	
30	+	12. 3	4.0	モザイック	全	全	全	7.9	全	モザイック 下葉枯死	9.0	5

發病歩合 100%

C. 下葉ニ三葉黄變セルモノ

試驗番號		發芽月日	草丈1月10日	第一回調査1月7日	第二回調査1月19日	第三回調査1月25日	第四回調査2月9日	草丈2月9日	第五回調査2月33日	第六回調査3月11日	全上草丈	花蕾數
		月日	寸					寸			寸	個
1	+	11.29	4.2	異狀ナシ	—	—	モザイツク黄點	7.5	下葉腐敗	モザイツク下葉腐敗	9.2	4
2	+	12. 3	4.9	異狀ナシ	—	—	黄點	10.0	全	モザイツク	10.1	5
3	+	12. 5	4.0	異狀ナシ	—	—	黄點	9.0	全	モザイツク	9.3	
4	+	12.14	1.5	萎縮	全	全	全	3.1		萎縮下葉枯死	2.5	4
5	+	12. 9	4.0	異狀ナシ	—	—	モザイツクボトリチス	9.0	全	萎縮	10.1	
6	+	12. 5	1.5	モザイツク下葉枯死	萎縮	全		2.1	全	枯死	4.0	
7	+	12. 9	1.5	モザイツク枯葉	半分腐敗	枯死						
8	+	12. 4	4.0	異狀ナシ	モザイツク	全	全	7.8	全	モザイツク下葉腐敗	10.0	4
9	+	11.29	4.0	異狀ナシ	モザイツク	全	全	7.7	全	モザイツク	9.8	
10	+	12. 4	4.9	モザイツク	全	全	全	8.2	全	モザイツク	9.8	
11	+	12. 9	4.6	モザイツク	全	全	全	8.7	全	モザイツク	8.0	
12	+	12. 5	6.0	モザイツク	全	全	全	8.9	全	モザイツク下葉枯死	10.15	5
13	+	12. 9	1.0	モザイツク下葉腐敗	萎縮	全	全	1.5	枯死			
14	+	12. 4	2.8	モザイツク	全	萎縮	全	6.0	下葉腐敗	モザイツク萎縮	8.0	2
15	+	12. 5	2.4	モザイツク	萎縮	全	全	3.9	全	モザイツク下葉腐敗	4.0	
16	+	12. 9	2.0	モザイツク	萎縮	全	全	4.0	全	萎縮下葉腐敗	3.9	
17	+	12. 5	4.5	モザイツク	全	全	全	9.1	下葉腐敗	モザイツク下葉枯死	9.0	
18	+	11.29	5.5	モザイツク	全	全	全	8.9	全	下葉枯死	10.25	
19	+	11.30	4.0	異狀ナシ	—	—	モザイツク	6.9	全	モザイツク萎縮	6.0	
20	+	12. 5	2.0	モザイツク	萎縮	全	下葉腐敗	3.7	全	萎縮下葉腐敗	4.0	
21	+	12. 8	2.3	モザイツク	全	全	萎縮	4.5	全	下葉腐敗	4.5	
22	+	12. 5	3.5	モザイツク下葉腐敗	全	全	全	7.2	萎縮	モザイツク萎縮	7.2	
23	+	12. 5	3.3	モザイツク	全	縮葉	全	7.0	全	萎縮	7.2	
24	+	12. 3	5.5	異狀ナシ	—	—	モザイツク	10.2	全	モザイツク	10.2	
25	+	12. 5	1.8	モザイツク下葉腐敗	腐敗始	腐敗	枯死					
26	+	12. 5	4.0	モザイツク下葉腐敗	全	全	全	7.8	全	萎縮	7.8	
27	+	12. 3	4.5	異狀ナシ	モザイツク	全	全	8.6	全	萎縮	8.6	
28	+	12. 4	4.5	モザイツク	全	全	全	9.5	全	萎縮	10.0	1
29	+	12. 3	3.5	モザイツク	全	全	全	6.5	全	萎縮	7.5	2
30	+	12. 4	4.0	モザイツク	全	全	全	8.0	全	モザイツク	10.0	

發病歩合　100%

D. 上部ヨリ發病全部枯死

試驗番號		發芽月日	草丈1月7日	第一回調査1月10日	第二回調査1月19日	第三回調査1月25日	第四回調査2月8日	草丈2月9日	第五回調査2月23日	第六回調査3月11日	全上草丈	花蕾數
		月日	寸					寸			寸	個
1	+	11.30	4.5	異狀ナシ	—	—	—	7.2	—	萎縮	7.0	
2	+	12. 3	4.0	異狀ナシ	—	—	—	8.0	—	萎縮	7.2	
3	+	12. 5	2.3	モザイツク	萎縮	全	全	4.4	全	萎縮葦特ニ細シ	6.0	
4	+	12. 5	4.0	異狀ナシ	モザイツク	全	全	9.4	全	萎縮	8.5	
5	+	12. 8	3.9	異狀ナシ	—	—	—	8.0	—	萎縮	8.0	1
6	+	12. 4	3.0	モザイツク	全	萎縮	全	5.5	全	モザイツク萎縮	7.5	2
7	+	12. 8	5.0	モザイツク	全	全	全	6.7	全	萎縮	7.0	1
8	+	12. 4	2.0	モザイツク	萎縮	下葉腐敗	全	2.2	全	萎縮	3.5	
9	+	12. 5	3.4	異狀ナシ	—	—	モザイツク	7.6	全	下葉腐敗モザイツク	10.1	3
10	+	12. 5	4.3	モザイツク	全	萎縮	全	8.5	全	下葉枯死モザイツク	10.1	3
11	+	12. 5	2.3	モザイツク	萎縮	全	全	3.5	全	下葉腐敗モザイツク	3.5	
12	+	12. 5	3.0	モザイツク	全	全	全	6.9	全	モザイツク	8.0	
13	+	12. 5	3.9	異狀ナシ	—	—	モザイツク	6.8	全	萎縮下葉枯死	6.0	
14	+	11.26	3.2	異狀ナシ	—	—	モザイツク	6.3	全	モザイツク	8.5	2
15	+	12. 9	枯死									
16	+	12. 5	2.9	異狀ナシ	—	—	モザイツク	5.7	全	モザイツク	8.0	1
17	+	12. 8	1.8	モザイツク	萎縮	腐敗	全	1.5	枯死			
18	+	12. 7	3.2	モザイツク	萎縮	全	全	1.5	全	萎縮下葉枯死	5.0	
19	+	12. 5	2.3	モザイツク	萎縮	全	全	3.7	全	萎縮下葉枯死	4.0	
20	+	12.14	2.0	モザイツク	全	全	全	2.0	全	腐敗枯死		
21	+	12. 8	3.0	異狀ナシ	モザイツク	全	全	6.2	全	萎縮	6.5	
22	+	12. 5	4.0	モザイツク	全	全	全	5.6	全	萎縮	6.0	
23	+	12. 9	2.5	モザイツク	萎縮	全	全	2.8	全	萎縮下葉枯死	3.0	
24	+	12. 9	4.0	異狀ナシ	モザイツク	全	全	6.1	全	モザイツク下葉枯死	7.5	2

發病歩合　100%

E. 上部ヨリ發病半分枯死

試驗番號		發芽月日	草丈1月7日	第一回調査1月10日	第二回調査1月19日	第三回調査1月25日	第四回調査2月8日	草丈2月9日	第五回調査2月23日	第六回調査3月11日	全上草丈	花蕾數
		月日	寸					寸			寸	個
1	+	12.16	1.0	モザイツク	萎縮	全	全	2.0	全	萎縮下葉枯死	1.8	
2	+	12. 3	3.5	異狀ナシ	—	モザイツク	全	6.3	全	萎縮	6.2	
3	+	12. 3	4.0	異狀ナシ	モザイツク	全	全	6.4	全	萎縮	7.5	2
4	+	12. 3	3.5	モザイツク	全	全	全	5.9	萎縮	萎縮下葉枯死	6.0	
5	+	12. 8	3.0	異狀ナシ	萎縮	全	全	3.5	全	萎縮	3.5	

試驗番號		發芽月日	草丈月日	第一回調査 1月29日	第二回調査 2月8日	第三回調査 2月16日	第四回調査 2月26日	草丈月日	第五回調査 3月7日	第六回調査 4月7日	全草上丈	花蕾數
		月 日	寸					寸			寸	個
6	+	12. 5	2.5	異狀ナシ	モザイック	全	全	3.9	全	萎縮 下葉枯死	4.2	
7	+	12. 5	4.0	異狀ナシ	—	モザイック	全	6.1	全	萎縮 下葉枯死	6.0	2
8	+	12. 5	2.0	モザイック	萎縮	全	全	3.2	全	萎縮	3.5	
9	+	12. 4	3.5	モザイック	全	全	全	6.0	全	萎縮	7.0	
10	+	12. 4	3.0	モザイック	萎縮	全	全	5.0	全	モザイック 下葉枯死	4.5	
11	+	12. 9	2.9	異狀ナシ	—	—	—	4.6	—	萎縮	4.0	
12	+	12. 5	2.0	モザイック	萎縮	全	全	1.8	全	萎縮	2.0	
13	+	12. 5	3.5	異狀ナシ	モザイック	全	全	4.5	萎縮	モザイック 萎縮	4.0	2開花セズ
14	+	12. 5	枯死									
15	+	12.12	2.2	モザイック	萎縮	全	全	3.3	全	モザイック 下葉枯死	4.2	
16	+	12. 5	3.5	異狀ナシ	—	—	モザイック	6.1	全	萎縮	5.5	2
17	+	12.16	0.7	モザイック	枯死							
18	+	12. 5	4.0	異狀ナシ	モザイック	全	全	6.2	全	萎縮 下葉枯死	6.2	
19	+	12,14	1.8	異狀ナシ	萎縮	全	全	2.5	全	萎縮	2.8	
20	+	12. 5	3.5	モザイック	全	全	全	6.1	全	萎縮	5.5	2
21	+	12. 4	4.0	モザイック	全	全	萎縮	5.9	全	萎縮 半分枯死	5.0	
22	+	12. 5	4.5	モザイック	全	全	全	7.0	全	萎縮 半分腐敗	6.0	1開花セズ
23	+	12. 4	枯死									
24	+	12. 5	枯死									
25	+	12. 9	3.5	異狀ナシ	モザイック	全	全	5.0	萎縮	萎縮	4.5	
26	+	12.13	2.0	モザイック	萎縮	全	全	3.1	全	萎縮	4.0	
27	+	12.14	1.4	葉腐敗始	腐敗枯死							
28	+	12. 7	1.8	モザイック	萎縮	全	全	2.0	全	萎縮	2.5	
29	+	12. 4	4.0	異狀ナシ	モザイック	全	全	7.0	全	萎縮	7.0	
30	+	12. 5	5.0	モザイック 綠斑	全	全		7.7	全	下葉枯死	8.5	

發病歩合　100%

F. 上部ヨリ發病三分ノ一枯死

試驗番號		發芽月日	草丈1月7日	第一回調査 1月10日	第二回調査 1月19日	第三回調査 1月25日	第四回調査 2月8日	草丈2月9日	第五回調査 2月23日	第六回調査 3月11日	全草上丈	花蕾數
		月 日	寸					寸			寸	個
1	+	12. 8	3.6	モザイック	全	全	全	4.5	全	萎縮	4.5	3
2	+	12. 5	3.5	異狀ナシ	モザイック	全	全	6.4	全	モザイック 下葉腐敗	6.5	3
3	+	12. 5	3.2	異狀ナシ	—	—	モザイック	7.0	全	モザイック 萎縮	7.0	5
4	+	12. 5	2.5	モザイック	萎縮	全	全	3.2	全	下葉枯死	3.5	
5	+	12. 5	3.5	モザイック 黃點	全	全	全	6.6	全	モザイック 下葉枯死	7.5	3

試驗番號		發芽月日	草丈1月7日	第一回調査 1月10日	第二回調査 1月19日	第三回調査 1月25日	第四回調査 2月8日	草丈2月9日	第五回調査 2月23日	第六回調査 3月11日	全草上丈	花蕾數
		月 日	寸					寸			寸	個
6	+	12. 7	4.0	モザイック	全	全	全	5.0	全	モザイック	7.0	2
7	+	12. 9	3.0	モザイック 黃斑	全	全	全	5.1	全	モザイック 萎縮	5.9	7開裂
8	+	12. 8	3.0	モザイック	全	全	全	5.9	全	モザイック	6.0	
9	+	12.30	1.0	モザイック 黃斑	萎縮	全	全	2.6	全	モザイック	4.0	
10	+	12. 7	2.8	モザイック 黃點	全	萎縮	全	7.2	全	萎縮 半分枯死	8.5	1

發病歩合　100%

G. 全葉モザイック病斑

試驗番號		發芽月日	草丈1月7日	第一回調査 1月10日	第二回調査 1月19日	第三回調査 1月25日	第四回調査 2月8日	草丈2月9日	第五回調査 2月23日	第六回調査 3月11日	全草上丈	花蕾數
		月 日	寸					寸			寸	個
1	+	12. 9	2.0	モザイック	萎縮	全	全	3.0	全	萎縮	3.0	
2	+	12. 8	2.5	モザイック	全	全	全	2.9	全	萎縮 下葉枯死	3.0	
3	+	11.29	3.5	モザイック	萎縮	全	全	4.5	全	萎縮 下葉枯死	4.0	
4	+	12. 4	2.0	モザイック	全	全	全	2.0	全	枯死		
5	+	12. 4	5.5	モザイック	全	全	全	8.0	全	モザイック 下葉枯死	8.0	2
6	+	12. 3	5.0	モザイック	全	全	全	7.2	全	モザイック	7.5	3
7	+	12. 5	3.5	モザイック 黃斑	全	全	全	5.5	全	萎縮	5.0	6裂開
8	+	12. 5	3.0	モザイック	萎縮	全	全	4.5	全	萎縮 下葉枯死	4.6	
9	+	12. 5	3.5	モザイック	萎縮	全	全	4.5	全	萎縮 下葉枯死	5.5	
10	+	12. 5	3.0	モザイック	全	全	全	4.2	全	モザイック 下葉枯死	4.0	
11	+	12. 4	4.0	モザイック 黃斑	全	全	全	6.5	全	萎縮	8.0	2裂開
12	+	12. 9	3.8	モザイック	萎縮	全	全	4.4	全	萎縮	4.5	
13	+	12. 9	2.9	モザイック	萎縮	全	全	3.5	全	萎縮	4.0	
14	+	12.15	1.5	モザイック	萎縮	全	全	2.0	全	萎縮 下葉枯死	2.5	
15	+	12. 8	2.5	モザイック	萎縮	全	全	3.1	全	萎縮 下葉枯死	3.5	
16	+	11.29	4.5	モザイック 黃斑	全	全	全	7.9	全	モザイック 下葉枯死	8.0	2裂開
17	+	11.30	3.8	モザイック 下葉腐敗	全	全	全	7.0	全	モザイック 下葉枯死	7.9	3裂開
18	+	12. 4	4.3	モザイック 黃班	全	全	モザイック 黃點	7.5	全	モザイック 下葉枯死	8.5	6
19	+	12. 5	4.0	異狀ナシ	—	—	—	7.0	—	萎縮	7.0	3
20	+	12. 9	2.5	モザイック	萎縮	全	全	4.1	全	下葉枯死	4.1	
21	+	12. 3	2.7	モザイック	全	全	全	4.5	全	萎縮	4.5	1
22	+	11.27	5.0	モザイック	全	全	全	7.7	全	モザイック	7.7	7
23	+	12. 4	4.8	異狀ナシ	モザイック	全	全	7.9	全	モザイック	7.9	4
24	+	12.16	1.0	異狀ナシ	枯死			2.5				
25	+	12. 5	2.0	モザイック	萎縮	全	全	6.1	全	萎縮	2.5	

試驗番號		發芽月日	草丈1月7日	第一回調査1月10日	第二回調査1月19日	第三回調査1月25日	第四回調査2月8日	草丈2月9日	第五回調査2月23日	第六回調査3月11日	全上草丈	花蕾數
		月 日	寸					寸			寸	個
26	+	12. 8	3.0	モザイック	全	全	萎縮	6.1	全	萎縮	6.1	
27	+	12. 6	4.0	異狀ナシ	モザイック	全	全	6.4	萎縮	萎縮	6.4	
28	+	12. 5	1.9	モザイック	萎縮	全	全	3.0	全	萎縮	3.0	
29	+	11.30	4.5	異狀ナシ	—	—	—	9.3	モザイック	モザイック	9.3	7
30	+	12. 4	5.6	モザイック	全	全	全	9.0	全	モザイック	9.0	4

發病歩合　100%

S. 標　準

試驗番號		發芽月日	草丈1月7日	第一回調査1月10日	第二回調査1月19日	第三回調査1月25日	第四回調査2月8日	草丈2月9日	第五回調査2月23日	第六回調査3月11日	全上草丈	花蕾數
		月 日	寸					寸			寸	個
1	+	12. 4	4.3	異狀ナシ	—	—	モザイック	6.7	全	モザイック 萎縮	6.5	4
2	+	11.30	4.8	モザイック	全	全	全	8.5	全	モザイック	8.0	6
3	+	12. 5	4.9	異狀ナシ	モザイック	全	全	7.4	全	モザイック	7.0	5
4	+	12. 5	3.5	モザイック	全	全	全	6.6	全	モザイック 萎縮	6.8	6
5	+	12. 9	3.5	異狀ナシ	—	モザイック	全	5.7	全	モザイック 萎縮	6.7	4
6	+	12. 4	4.0	異狀ナシ	—	—	モザイック	6.7	全	モザイック	8.2	3
7	—	12. 4	5.0	異狀ナシ	—	—	—	9.2	—	異狀ナシ	10.2	6
8	—	12. 3	5.5	異狀ナシ	—	—	—	9.9	—	健全	10.35	6
9	+	11.30	5.0	モザイック	全	全	全	9.5	全	モザイック	10.51	5
10	—	11.26	5.2	異狀ナシ	—	—	—	10.1	—	健全	10.94	6
11	—	11.30	4.6	異狀ナシ	—	—	—	10.7	—	健全	10.44	6
12	+	12. 5	4.5	異狀ナシ	—	モザイック	全	8.0	全	モザイック	10.00	1
13	—	12. 7	4.3	異狀ナシ	—	—	—	8.8	—	異狀ナシ	10.15	4
14	—	12. 3	4.5	異狀ナシ	—	—	—	9.5	—	異狀ナシ	10.32	6
15	—	11.26	4.0	異狀ナシ	—	—	—	10.12	—	異狀ナシ	10.82	4
16	—	12. 3	4.3	異狀ナシ	—	—	—	10.25	—	異狀ナシ	10.9	10
17	+	12.10	4.0	モザイック	全	全	全	9.8	全	モザイック	10.5	5
18	+	12. 5	4.3	異狀ナシ	—	—	モザイック	8.2	全	モザイック	10.2	6
19	+	12. 3	4.0	異狀ナシ	モザイック	全	全	7.5	全	モザイック	10.2	6
20	+	發芽セズ										
21	—	12. 4	5.0	異狀ナシ	—	—	—	9.5	—	異狀ナシ	10.55	5
22	+	12. 5	5.1	モザイック	全	全	全	10.05	全	モザイック	10. 9	5
23	—	11.29	4.5	異狀ナシ	—	—	—	10.24	—	異狀ナシ	10.15	6
24	—	12. 5	4.0	異狀ナシ	—	—	—	8.4	—	異狀ナシ	8.2	5
25	+	12. 5	3.0	モザイック 下葉枯死	全	全	萎縮	5.9	全	モザイック	10.4	3

試驗番號		發芽月日	草丈1月7日	第一回調査1月10日	第二回調査1月19日	第三回調査1月25日	第四回調査2月8日	草丈2月9日	第五回調査2月23日	第六回調査3月11日	全上草丈	花蕾數
		月 日	寸					寸			寸	
26	—	11.28	4.2	異狀ナシ	—	—	—	8.8	—	異狀ナシ	10.27	7
27	—	12. 2	4 3	異狀ナシ	—	—	—	9.7	—	異狀ナシ	10.53	6
28	—	11.29	.0	異狀ナシ	—	—	—	9.5	—	異狀ナシ	10.1	7
29	+	12. 5	4.0	異狀ナシ	モザイック	全	全	8.2	全	モザイック	10.05	5
30	—	12. 5	4.0	異狀ナシ	—	—	—	7.8	—	異狀ナシ	10.20	6

發病歩合　50%

以上二ケ年ノ試驗ヲ通覽スルニ圃場ニ於テ多少ニテモ發病セルモノハ溫室ニテ開花セシムルニ滿足ナル結果ヲ得ズ特ニ下部ヨリ發病セルモノモ上部ヨリ發病セルモノモ被害ノ程度進ミタルモノ程萎縮ノ度合甚シク（Eeg　15）ノ如シ

然シテ圃地ニ栽培スル場合多少ニテモ罹病セルト認メラルルモノハ全部拔取リ燒却ヲスルヲ要スルハ本試驗ニヨリ明ニ證明セラレタリ、標準區即チ圃地ニ於テ健全ナルモノヲ栽培シ溫室ニテ開花セシメルニ何等ノ異狀ヲ認メズ（Eeg　14）ノ如ク完全ニ發育立派ニ開花スルモノナリ。

モザイック病

本縣ニ於テ被害甚シク病害ノ大部分ハ本病ニシテ種々ノ型ヲ現ワスモノナリ即チ yellowflat ト稱セラルヽ狀態トナリ全体黃色ヲ呈シ葉ハ著シク捲重シ下葉ヨリ漸色枯葉スルモノ又ハ葉ニ不規則ナル淡綠色ノ部分ヲ生ジ莖葉ニ異狀ヲ來サズ普通健全ナルモノト同樣開花スルモ斯ノ如キモノヲ栽培スル場合次年ニ於テハ葉面全体ニ絣狀ノ萎黃部ヲ生ジ漸次病勢進化スルニ從ヒ黃褐色ノ斑點トナリツイニ枯死スルモノ等ニシテ Fig 79 ニ示スガ如キ各種ノ病狀ヲ呈スルヲ普通トス本病ニ關シテハ未ダ充分ナル防除ノ方法判明セザルモ傳染ノ經路ニ就キテノ實驗ノ結果ハ次ノ如シ。

モザイック病ト蚜虫ノ關係

從來古老ノ言ニ依レバ蚜虫ノ被害ヲ蒙ル場合ハ百合ニ「クセ」ヲ生ズト（立枯病ノ意ナラン）稱セラレタルハ蚜虫ガ本病ヲ媒介感染セシムル爲ナラント思考

セラル、之ニ就キ蚜虫ヲ使用シテ接種試験ヲ行ヒタル結果ハ次ニ示スガ如シ

本實驗ハ圃地ニ於テ豫メ無病健全ニ發育セル球根ヲ取リテ之ヲ定植シ「モザイツク」病其他ノ病害ニ犯サレザルヲ確メタルモノヲ供試セリ。

供試ノ蚜虫ハ本縣百合ニ普通ニ寄生スル綠色ノモノニシテ農事試驗場木下技師ノ鑑定ヲ乞ヒ Aphis Gunbae Sginli. N. SP. ト名命セラレ「グンバアブラムシ」トシテ取扱ヒツヽアルモノ並ニ Aphis Gossypii etover 「ワタアブラムシ」並ニ甘藍ノ黑色「アブラムシ」ヲ使用セリ。

實驗 1.

Aphis Gossypii etover ヲ使用セルモノニシテ豫メ前記健全ナル球根ヨリ發芽シ健全ニ發育セルモノ（ホツトニ栽培）ニ「モザイツク」病（5ノ型）ニ犯サレタル百合ニテ一週間飼育ナシタルモノヲ放置セリ、然シテ一週間ノ後硫酸ニコチン1000倍液ヲ撒布シテ蚜虫ヲ驅除セリ。

番號	放飼月日	放飼頭數	發病月日	感染有無	備考
1	6. 2	20	6.24	+	
2	〃	〃	6.18	+	
3	〃	〃	6.30	+	
4	〃	〃	6.23	+	
5	〃	〃	---	−	
6	〃	〃	6 28	+	
7	〃	〃	—	−	
8	〃	〃	6.29	+	
9	〃	〃	7. 5	+	
10	〃	〃	7. 8	+	
標準	〃	〃	---	−	健全ナル百合ニ寄生セルモノヲ放飼ス
標準	〃	〃	—	−	

2.Aphis Gunbae Sginli. N. SP. ヲ使用セルモノ

番號	放飼月日	放飼頭數	發病月日	感染有無	備考
1	6.10	20	7. 5	+	
2	〃	〃	7. 3	+	
3	〃	〃	7. 9	+	
4	〃	〃	7.12	+	
5	〃	〃	7. 5	+	
6	〃	〃	7.15	+	
7	〃	〃	7. 3	+	
8	〃	〃	7. 1	+	
9	〃	〃	7. 9	+	

番號	放飼月日	放飼頭數	發病月日	感染有無	備考
10	6.10	20	7. 3	+	
11	〃	〃	—	−	無毒ノ蚜虫ヲ放飼ス
12	〃	〃	—	−	

3. 甘藍ノ黑色蚜虫　百合ニ寄生セズ希ニ寄生スルモノアルモ發病セズ

以上現在ニ於テ蚜虫ニ依ル媒介感染ヲナス種類ニシテ判明セルモノハ前記二種ニシテ他ノ種類ニ就テハ今後ノ試驗ニ待ツ。

萎縮病「モザイツク」ト汁液接種

モザイツク病（5）ノ狀態ニアルモノノ葉ヲ取リ之ヲ乳鉢ニテスリ汁液ヲ搾取シ注射器ニ入レ健全ナル鐵砲百合ニ注射シ發病ノ有無ヲ調査スルニ次ノ如シ

開葉直後ニ接種					三寸位伸長セル頃接種				
番號	發病	接種月日	發病月日	感染有無	番號	發病	接種月日	發病月日	感染有無
1	12. 6	12.24	1. 7	+	1	12. 8	1.16	1.25	+
2	12. 5	〃	1. 4	+	2	12. 9	〃	1.30	+
3	12. 8	〃	1.10	+	3	12. 8	接種前發病	—	
4	12.10	〃	—	−	4	12.10	1.16	1.27	+
5	12. 6	〃	—	−	5	12. 5	〃	2. 2	+
6	12. 7	〃	1. 4	+	6	12. 7	接種前發病	—	
7	12.11	〃	1. 7	+	7	12. 8	〃	—	
8	12. 4	〃	1. 6	+	8	12. 9	1.16	1.30	+
9	12. 5	〃	1. 4	+	9	12. 6	〃	1.27	+
10	12. 6	〃	—	−	10	12. 7	〃	1.30	+

汁液接種モ大体ニ於テ發病スルモノナリ又細菌濾過管ヲ使用シ前記汁液ヲ濾過シタルモノヲ接種ニ供スル場合モ全様發病ス。

モザイツク病ト接木ノ關係

モザイツク病ニ犯サレ發病シ5ノ如キ型ヲ現シタル鐵砲百合ヲ砧木トシテ之レニ健全ナルモノヲ接木セシニ接木二週間ニシテ何レモ莖ノ先端新ラシク開葉セルモノニ3ノ如キ病狀ヲ現シタリ、又接種ニ萎縮症狀ヲ呈セルモノヲ取リ健全ナル砧木ニ接木セシニ砧木ノ方ハ何等異狀ナク病狀ヲ呈セズ、本試驗ハ昭和八年二月十三日施行セシモノニシテ當場園藝部中島氏ヲ煩シタリ。

萎縮病ト傷害ノ關係

萎縮狀ヲ呈スル原因ニ就キテハ種々ナルモ實驗ノ結果ハ健全ナル球根ニ傷害ヲ與ヘテ栽植スル場合モYellaws flatト全様萎縮ノ症狀ヲ呈スルモノナリ。

細菌分離並ニ接種ニ關スル試驗

細菌分離ハ罹病ノ葉ニ就キ度々行ヒタルモ病原ト認ムルモノヲ得ルニ至ラズ根部ノ腐敗セルモノヽ中ヨリ比較的新ラシキモノヲ選ビ屢々分離ヲ行ヒテ八種ノ多少異リタル細菌ヲ得タリ然ドモ何レモ接種試驗ニ成功セズシテ未ダ病原菌判然セズ今後ノ研究ニ待ツ。

接種ノ方法

1. 寒天培養基上ニ繁殖セルモノヲ取リ殺菌水ニ稀釋シ接種用「スプレー」ニテ葉面ニ撒布ス、接種ヲ終了セルモノハ「ベルジヤー」ヲ覆ヒ日蔭ニ放置シタリ

細菌別	第一回			第二回			第二回			備考
	No. 1	No. 2	No. 3	No. 1	No. 2	No. 3	No. 1	No. 2	No. 3	
西ケ原1號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六月三十日第三回ヲ施行ス試驗ハ昭和六年六月十五日第一回、仝二十二日第二回
仝 2號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 3號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 4號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 5號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 6號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 7號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 8號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
埼玉1號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
群馬1號	−+	−+	—	—	—	—	—	—	—	
仝 2號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 3號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 4號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 5號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 6號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

西ケ原トアルハ本省農事試驗場ニ於テ池野氏ノ分離セラレタルモノヲ當場ニテ分離シ得タ菌ト比較セント欲シ分讓ヲ乞ヒテ得タルモノニシテ當場ノモノト類似ノモノ多シ、當場一號菌ハ藏氏記載ノ菌ト類似セル點多キモ「グラム」氏法ニテ陰性ヲ呈セリ。

2. 塗沫式ニ依リ接種ヲ行ヒタル結果モ前者仝樣何レモ陰性ナリ、接種ハ豫メ噴霧器ヲ以テ鐵砲百合ノ葉面ニ殺菌水ヲ撒布シ之ニ寒天培養基ヨリ白金耳ニヨリ細菌ヲ釣出シ接種部ニ塗沫ス接種箱中ニ保存ス。

細菌別	第一回			第二回			第三回			備考
	No. 1	No. 2	No. 3	No. 1	No. 2	No. 3	No. 1	No. 2	No. 3	
西ケ原1號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 2號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 3號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 4號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 5號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 6號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 7號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 8號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
埼玉1號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
群馬1號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 2號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 仝3號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 4號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 5號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 6號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

3. 穿刺法　前記仝樣ノ方法ニヨリ接種後針ニテ穿刺シ傷ヲ附シテ細菌ヲ組織内ニ誘導セリ。

菌種	第一回			第二回			第三回			備考
	No. 1	No. 2	No. 3	No. 1	No. 2	No. 3	No. 1	No. 2	No. 3	
西ケ原1號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 2號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 3號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 4號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 5號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 6號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 7號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 8號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
埼玉1號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
群馬1號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 2號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
群馬3號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 4號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 5號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仝 6號	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

花雷開裂ニ關スル試驗

鐵砲百合 Lilium Longiflorum, THUNB. ヲ温室ニ栽植開花スルニ當リ花雷ノ開裂スルモノ(Eig10)ノ多キヲ以テ之ガ原因ヲ調査スルニ特ニ「モザイツク」ニ犯サレ其ノ被害甚シク莖葉畸形ヲ呈スルノ狀態ニアルモノハ畸形的ニ開裂(Eig10)スルコトアルモ(Eig 18)ノ如キ狀態ニ開裂ズルハ如何ナル原因ニ依ルモノナルヤ判然セザルモ極端ナル狀態ヲ異ニセル場合發生スルモノノ如ク遺傳的現象ハ全々ナキモノノ如シ、一度温室ニテ開裂セシ球ヨリ生ゼシ生子ヲ栽培シテ五六寸球トナシ之ヲ開花セシムルモ開裂スルガ如キコトナシ然シテ本縣ニテ栽培セシ種球ヲ用ヒル場合ハ「モザイツク」ニ犯サレ極端ニ發育不良ナルモノノ外ハ開裂スルモノナキモ鹿兒島縣產球ヲ本縣ニテ温室ニ栽培スル時ハ應々開裂スルヲ見ル然モ「モザイツク」其他ノ病狀ヲ全々認メズ、乍然之ヲ本縣ニ栽培スル場合ハ開裂スルモノ殆ンドナシ。

實驗成績次ノ如シ。

A. 大島產鐵砲百合ヲ本縣未栽培土壤ニ栽植開花セシム

B. 大島產鐵砲百合ヲ大島產連作土壤ニ栽植開花セシム

C. 本縣病鐵砲百合ヲ大島土壤ニ栽植シ開花セシム

D. 本縣病鐵砲百合ヲ本縣未栽培土壤ニ栽植開花セシム

以上ハ各區ヲ二十五鉢宛トシ豫メ冷藏シタルモノヲ七寸「ポツト」ニ栽植シ温室ニテ栽培スルコト前記罹病程度ト發育ニ及ボス影響試驗ト同樣ナリ。

成　績　表

區	昭和三年			昭和四年			昭和五年			昭和六年			昭和七年		
	健全開花	開裂數	開裂%	健全開花	開裂數	開裂%	健全開花	開裂數	開裂%	健全開花	開裂數	開裂%	健全開花	開裂數	開裂%
	鉢	鉢	%	鉢	鉢	%	鉢	鉢	%	鉢	鉢	%	鉢	鉢	%
A	25	—	—	15	10	40	22	3	12	23	2	8	21	4	20
B	18	7	28	23	2	8	17	8	32	20	5	20	21	4	20
C	23	2	8	23	2	8	24	1	4	25	—	—	25	—	—
D	23	2	8	21	2	8	23	2	8	24	1	4	25	—	—

結　論

以上各種ノ實驗ニ依リ百合ノ病害ニ關シテハ種々アルモ空氣傳染性ノ病害ニ對シテハ石灰ボルドウ液有効ニシテ連作ヲナサントスル場合「フオルマリン」土壤消毒ハ實行可能ニシテ最モ効果顯著ナリト雖モ要スルニ栽植ニ當リテハ種球ノ選擇ニ注意ヲ要スベク近年關東府縣ノ栽培地ニ於ケル圃場檢查ニヨリ發病球ノ除去燒却ハ極メテ肝要ナルモノニシ檢查施行以來輸出先ニ於ケル被害ノ輕減サレタル實例ニ徵シテモ且又(Eig15)ニ示スガ如ク種球ヲ充分選擇セルモノト然ラザルモノハ圃地ニ於テモ發病率ニ重大ナル關係アリ又温室ニ於テ開花セシムル場合ニアリテハ試驗成績ニ明記セル如キ結果トナリ圃地ニ於ケル檢查ノ如何ニ重大性ヲ有スルカラ如實ニ證明スルモノタリ、要之スルニ百合栽培ニ當リ病害ハ種球ノ撰擇如何ニ依ツテ大体決セラルヽモノナリトス。

（完）

參 考 文 献

(1) Arther J. C. Uredinals. North Americau Flora. 7:754 1926

(2) Charles. V. K. and Martin. G. H. Same diseases of lilies Plant Diseases Reportr, 12:82, 1928.

(3) Doolitlle. S. P. The masaie disease of Cucurbits U. S. D. A, Bulletin 879:1—69. 1920

(4) Drechsler. chorles. Foat—rot. of lilium Candidum and lilium pyrenaicum Caused by Phytophthera Cactorum Phytopath. 16:51—53—1926.

(5) Drerhsler, Charles ,Foat-rot due to phytophthore Cactorum. in additional. species of lilies plant Disease Beporter, 13:8. 1929.

(6) Fxo, H. M. Auratum lilies restored by iron. Hortculture. 6:43 1929

(7) Garman. P. H. Astudg of the bulb mite Connecti Cut Ggr. qxp sta Bul 225:113—132. 1921

(8) Gribfithes. D. The Madonna lily. U. S. D. A. Bulletin 133;1—18. 1925

(9) Gribfilhes. A. score of aesily propagated lilies U. S, D. A. Circulor 23;1928.

(10) Gribfilhes. A. The. Praduction of lily bulles. U. S. D. A. Circulor 102;1920

(11) Kean. A. L. The lily disease in Bermuda. Batanieol Gagetle 15;8—14 1890

(12) Martin. G. H. Certain early clevelopmentol phoses. Common to many fungi Phypopth 19;1117—1123. 1929

(13) Massee. G. A. lily bulb disease. Garden and Farest. 10;414—415—1897

(14) Mcpaniel, E. I. The priucipal bulopests in Michigan Mishigan Agr. Exp. Sta. Spec. Bul 173;1—23. 1928

(15) Agilvil. L. Report of the plant pathologist. Annual Report, Bermuda Department of Agriculture. 1924;32—43—1925

(16) Agilvil. L. Repart of the Plant Pathologist. Annual Repart. Bermuda. Department of Agricutlure 1925;36—63 1926

(17) Agilvil. L. Report of the plant pathologist. Annual Report. Bermuda. Department of Agricutlure 1926;35—41. 1927

(18) Agilvl. L. Report of th plant pothologist Annual Report. Bermuda Deportment of Agriculture 1927;26—37. 1928

(19) Agilvil. L. Atrausmissible Virus disease of the Easter lily Annals of spplied Bialagy 15;540—562 4pls 1928

(20) Pinkhof. M. Untersuchun gen Über die Umfallenkrankheit der Tulpen. Recuetl Trad. Bot. Neerlandais. 26;135—288. 1929

(21) Plant patholagical sub-Commithee of the British Micalegical saeietg, list of Cammen Names of British Miralagi cal Saciety 14;140—177. 1929

(22) Staut. A. B. why we bail with garden lilies. Jaurnal of the New york Botanieal Garden 28;285—296. 1927

(23) Stewart. F. C. Two destructioe lily Diseases. Newyork (Geneva) Agr Exp sta Annn ual Report 1895;520—524. 1896

(24) Ward. H. Marshall. A. lily descase. Annals of Batamg 2:319—376. 1888

(25) Wasterdijk. J. and Kingma. F. H. Van Beyma Thae Die Botrylis-Kraukheiter der Blumenzwiebelge wachse und der paeonie Medeel. Phytopoth. Lal willil Cammuelin Schol 12;1—27. 1928

(26) Whetzel. H. H. Report of the plant palual-ogist Annual Report. Bermuda Departnunt of Agriculture 1921;30—64. 1922

(27) Wingard. S. A. Blight. of lilium auratum in Virginia. Plant Disease Reporter of the lily Disease. Transactions of the Botanieal Society of Edinbury 30:59—65.1928

(28) 藤黒與三郎　百合ノ葉枯病　植物學雜誌　28:228—230. 1914

(29) Lawrence Ogll. vie, M. Sc. (Cantab). M. A. B. Sc. (Abdu): Atransmissible virus disease of the Easter lily. Ann. of App. Biology. vol. xv. No 4.p 540—562 Nov. 1928.

(30) 卜藏梅之亟　作物病害豫防驅防法　817. 1925

(31) 仝　作物病害豫防驅除法　819. 1925

(32) 原　攝　祐　實驗作物病理學　428. 1930

(33) 仝　實驗作物病理學　429. 1930

(34) 仝　實驗作物病理學　433. 1930

(35) Hemmi T. Adb Nakamura. H. : Stusing on Septorioses of plants. I. Comparison of two

Different Speciss of Septoria Causing the Laaf-spot Diseaes of the Culwated Chrysanthemum. Mem. coll. Agr. Kyotu lmp uuiv 3:1—24. 1927

(36) 本田正次、向坂道治　大綱日本植物分類學　26—462. 1930

(37) 牧野富太郎、根本莞爾　日本植物總覽　1531—1532. 1931

(38) 池野早苗　農業及園藝　Vul7　No8　1421—1436. 1932

(39) 田中顯三　農業及園藝　Vul7　No13　2588—2594. 1932

(40) 卜藏梅之丞　日本植物病理學會報　Vul1　No2

(41) 仝　病虫害雜誌　Vul18　No7　359—366. 1931

(42) 横井常高　病虫害雜誌　Vul19　No9　678—680. 1932

(43) 村松强兵、柴崎芳之助　病虫害雜誌　Vul19　No19　735—344. 1932

(44) 仝　病虫害雜誌　Vul19　No11　820—826. 1932

(45) 仝　病虫害雜誌　Vul19　No12　906—914. 1932

(46) 村越三千男　大植物圖鑑　772—779. 1927

昭和八年十一月二十五日印刷
昭和八年十一月二十八日發行

群馬縣立農事試驗場

印刷者
吉田吉次郎
群馬縣高崎市九藏町四番地

印刷所
精眞社印刷所
群馬縣高崎市九藏町一〇三番地
電話三四〇番

638-127
1200501565726
638
127